Barlabe®

FI212T

取扱説明書

コンパクト
ボディに
高機能満載！

このたびは、Barlabe FI212T を
お買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。
ぜひ本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

株式会社 サトー

はじめに

このたびは、当社Barlabe FI212T（以降、「本プリンタ」と呼びます）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

本プリンタの機能を充分に理解され、正しく効率的にご利用いただくために、「取扱説明書」を用意いたしました。本プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

取扱説明書（本書）の内容

●設置のしかた、電源の入れかた、用紙のセットのしかたなど、本プリンタの基本的な使いかたを説明しています。
●呼出し発行と固定発行を利用されるときの操作方法を詳しく説明しています。固定発行以外の詳しい説明は添付のCD-ROMをご参照ください。

クイックガイドの内容

●本プリンタをはじめてご使用される方は、クイックガイドをお読みください。
●レイアウト作りからラベルを印字するまでを順を追って説明しています。
●初めてのかたにご利用いただけるようにわかりやすく説明しています。

目　次

第6章　値下CODE128

第7章　値下JAN2段

第8章　個体識別

第9章　環境設定

第10章　あれ？どうしたのかな？

第11章　基本仕様

第12章　保守

第13章　付録

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店へご連絡ください。
（4）この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
（5）本書に記載されている情報の利用に起因する損害または特許権その他の侵害に関しては、当社は一切その責任を負いません。

初版 2009年3月 Q02484000

安全上のご注意

この取扱説明書には、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

▲絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを正しくお使いいただき、お客様や他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

	誤った取り扱いによって、感電の可能性が想定されることを示しています。		安全のために加熱や火の近くに置いたり､火の中にいれてはいけないことを示しています。
	誤った取り扱いによって、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。		安全のために必ず電源コードのプラグをコンセントから抜くように指示するものです。
	安全のためにしてはいけないことを示しています。		安全のために必ずアースを取るように指示するものです。
	安全のために分解してはいけないことを示しています。		高温による傷害の可能性が想定されることを示しています。

警　告

	不安定な場所に置かない： ● ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となります。
	水などの入った容器を置かない： ● プリンタの周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	内部に異物を入れない： ● プリンタの開口部（ケーブルの出口やSDカード取付口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	指定以外の電圧は使用しない： ● 指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	電源コードの取り扱いについて： ● 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。又、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 ● 電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ● 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警　告

<table>
<tr><td>

</td><td>落としたり、破損したときは：
● プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</td></tr>
<tr><td>
</td><td>異常な状態で使用しない：
● 万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。</td></tr>
<tr><td>
</td><td>分解しないでください：
● プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご依頼ください。</td></tr>
</table>

警　告

プリンタ清掃液の取り扱いについて：

- プリンタ清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。
- お子様が間違って飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

オプションケーブルやスキャナの接続について：

- オプションのケーブルやスキャナをプリンタ本体へ接続する場合は、必ずプリンタやオプションの電源をOFFにしてから行ってください。
  電源をONにしたまま接続すると、オプション機器が突然動いてケガをしたり、感電する恐れがあります。

バッテリパックやACアダプタについて：

- バッテリパックやACアダプタを分解しないでください。バッテリパックやACアダプタに直接ハンダ付けを行うような改造もしないでください。

- バッテリパックやACアダプタを加熱したり、火の中へ投入しないでください。又、ショートの恐れのあることはしないでください。

- バッテリパックへの充電は指定された充電器で行ってください。

- バッテリパックやACアダプタを水や海水などにつけたり、端子部分を濡らさないでください。電池を発熱させたり、端子などのサビの原因となります。

ACアダプタや充電器について：

- 指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 充電器は、指定以外のバッテリパックを充電しないでください。バッテリの破裂、液漏れや火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。又、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注　意

湿度が高い場所に置かない：

- プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。

持ち運び：

- 移動されるときは、必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因となります。
- 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをする恐れがあります。
- プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。
- LCDを持ってプリンタを持ち運ばないでください。
LCDを破損する原因となります。

電源：

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。
- 電源ユニットは熱くなることがありますので、注意してください。

電源コード：

- 電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合、電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、プラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合、芯線の露出や断線し、火災・感電の原因となることがあります。
- 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。
他の電気製品には使用できません。

カバー：

- カバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。
又、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持って行ってください。

注　意

	サーマルヘッド： ● 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。用紙を交換するときや清掃を行うときには、火傷をしないように注意して行ってください。 ● サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをする恐れがあります。用紙を交換するときや清掃を行うときには、ケガをしないように注意して行ってください。 ● お客様によるサーマルヘッドの交換は、行わないでください。ケガ、火傷及び感電の恐れがあります。
	サーマルヘッドの開閉： ● サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因となることがあります。
 	用紙のセット： ● ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。 ● 外部供給口のカバーを外すとき、ケガをしないように注意して行ってください。
	長期間ご使用にならないとき： ● プリンタを長時間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れ・清掃のとき： ● プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

注　意

SDカードの取り扱い：

- カードを落としたり、手で曲げたりして強い衝撃を与えないでください。記憶された内容が失われる恐れがあります。
- 水に濡らさないでください。記憶された内容が失われる恐れがあります。
- 直射日光の当たるところや、暖房器具の近くに置かないでください。
- コネクタ部を直接触ったり、ゴミやホコリが入ったりしないようにしてください。記憶された内容が失われる恐れがあります。
- 高温多湿のところに保管しないでください。
- 静電気防止のため、輸送・保管時は必ずソフトケースに入れてください。

バッテリパックの交換：

- 指定以外のバッテリパックを使用しないでください。
- 交換時は、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、表示どおり正しく入れてください。間違いますとバッテリの破損、液漏れによるケガや周囲を破損する原因となる場合があります。
- 交換したバッテリパックを廃棄する場合は、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご依頼ください。
- バッテリパックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- バッテリパックを直射日光の強いところや、炎天下の車内やストーブの前面などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池を液漏れさせたり、電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
- バッテリパックをはじめてご使用になる場合や長時間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してください。
- バッテリパックを使用しない場合には、電池の液漏れやサビをさけるため湿気の少ない場所で保管してください。
- バッテリパックの端子が汚れると、機器との接触が悪くなり電池が切れたり、充電されなくなりますので、乾いた布などでふき、端子をきれいにしてからご使用ください。

バッテリパックに関するお願い

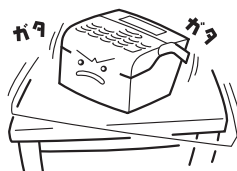
- 使用済みのバッテリパックは、希少資源の有効利用のために、接点にテープでシールする等の絶縁処理を行ってから、処分方法を販売店、ディーラー又はサポートセンターへご相談ください。
- 乾電池などの他の電池とは混ぜないでください。

設置および取り扱い上のご注意

水平な場所に設置してください。

凹凸があったり斜めになっている場所に設置すると、きれいな印字ができないことがあります。また、故障やプリンタ寿命を縮める原因となります。

振動のある場所に設置しないでください。

振動のある場所に設置すると、きれいな印字ができないことがあります。また、故障やプリンタ寿命を縮める原因となります。

高温･多湿な場所に設置しないでください。

温度や湿度が高くなる場所に設置しないでください。温度や湿度が高い場所は、故障やプリンタ寿命を縮める原因となります。

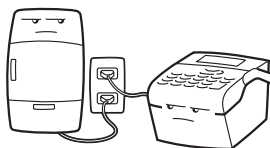
ほこりを避けて使用してください。

ほこりの多い場所に設置すると、きれいな印字ができないことがあります。また、故障やプリンタ寿命を縮める原因となります。

直射日光の当たる場所を避けてください。

本プリンタは光学センサを内蔵していますので、直射日光に当たるとセンサが誤動作を起こすことがあります。また、印字のときは必ずカバーを閉じてください。

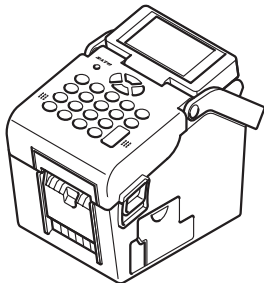
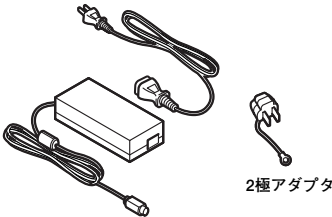
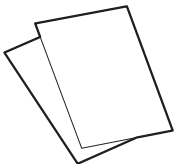
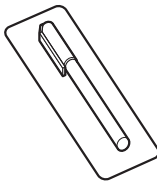
ヒーターや冷蔵庫などのそばから電源を供給しないでください。

消費電力の大きい電気製品の近辺にある電源から、電源を供給しないでください。電圧低下による誤動作や故障の原因となります。

側面をふさぐ場所に設置しないでください。

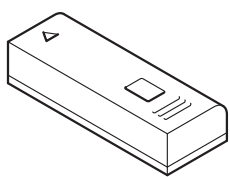
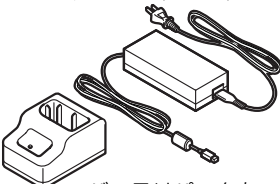
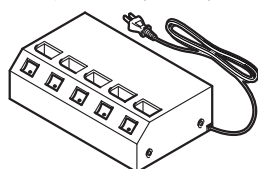
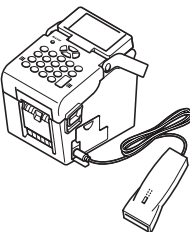
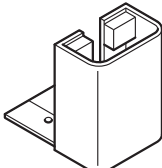
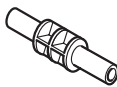
本プリンタを設置するときは、本プリンタ側面と壁などの間に15cm以上のすき間を開けてください。発熱による故障やプリンタ寿命を縮める原因となります。

本プリンタを横または逆さまにしないでください。

本プリンタに用紙をセットしたまま、電源ユニットやバッテリパックの取り付け等により、本プリンタを横にしたり逆さまにすると、用紙ホルダから用紙が外れ用紙詰まりの原因となります。また、用紙が破れたり傷が付いて、きれいな印字ができない場合があります。

第1章　知っておいていただきたいこと

本プリンタをお使いになる前に知っておいていただきたいことや、本プリンタの概要について説明します。

箱の中身を確認する

箱を開けたら、次の付属品が揃っているか確認してください。
もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店又はディーラーまでお問い合わせください。

本体と同梱の付属品

プリンタ本体	ACアダプタ（2-3極変換プラグ）
	ACアダプタと電源コード 2極アダプタ

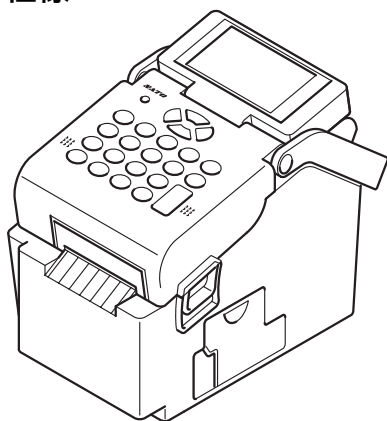
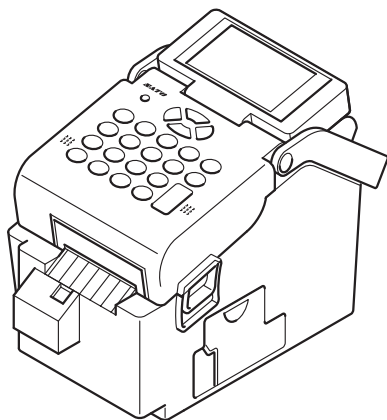
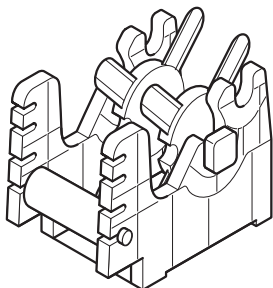
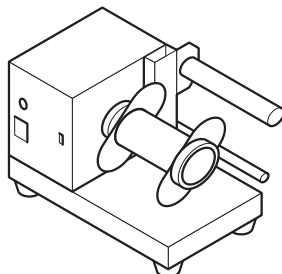
取扱説明書（本書）	メンテナンス案内書	クイックガイド
取扱説明書		
クリーニングペン	**CD-ROM**	**保証書（ビニールホルダ付き）**
		保証書

FIツールについて

FI212Tの「呼出し発行」を行うためのデータを作成するには添付CD-ROM内の「FIツール」を使用します。FIツールのセットアップ方法、取り扱い方法については添付のクイックガイドやCD-ROM内のオンラインマニュアルを参照してください。

オプション（別売）品のご紹介

＊オプション品の取り扱いについては78ページをご覧ください。

カッタ仕様

ノンセパ（カッタ付き）仕様

＊ノンセパ（カッタ無し）仕様は、標準仕様と外観上の違いはありません。

外部供給装置 UW200EF

外部巻取機RW350

＊外部供給装置（UW200EF）および外部巻取機（RW350）の設置および使用方法については、各装置に同梱されている取扱説明書をご覧ください。

各部の名称

各部の名称

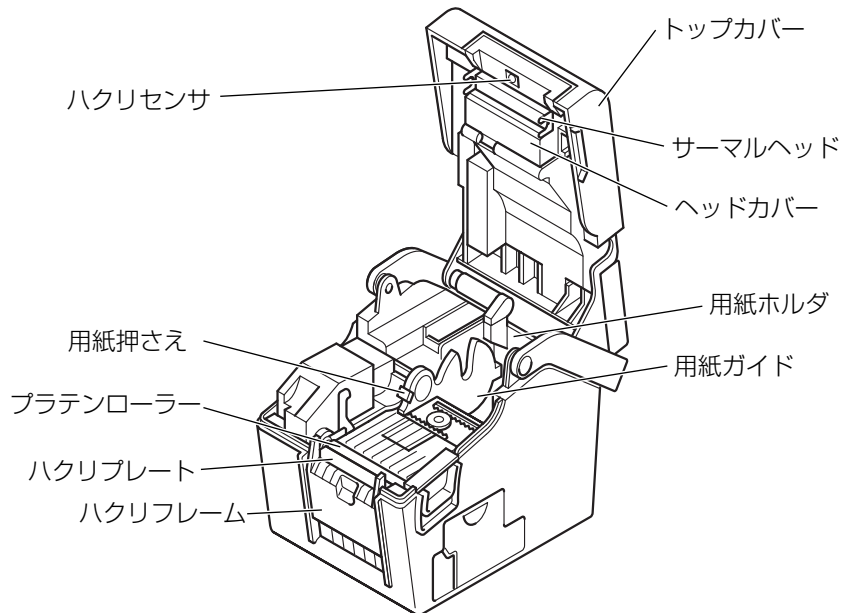
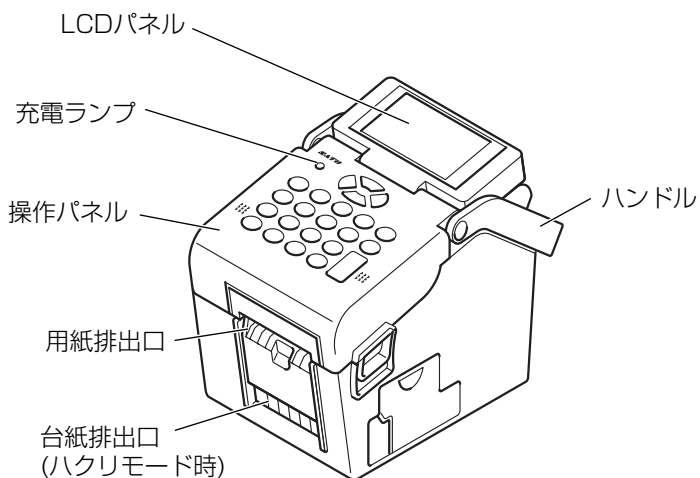
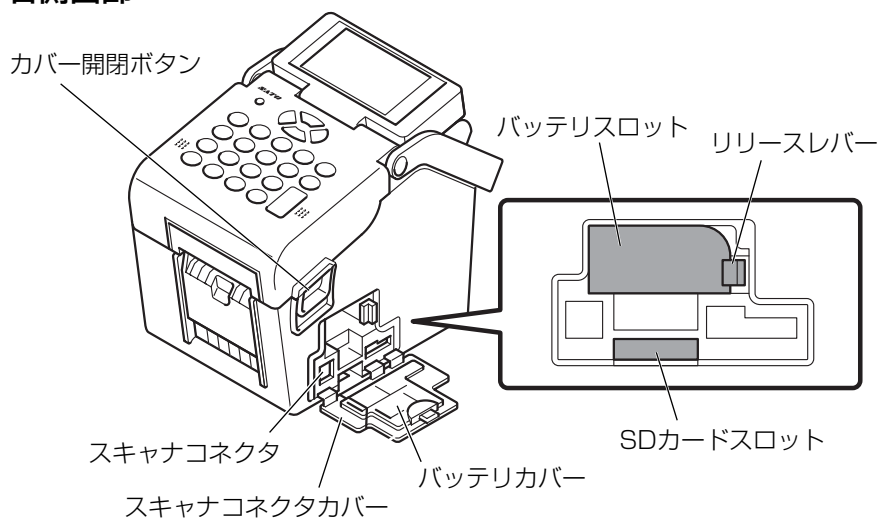
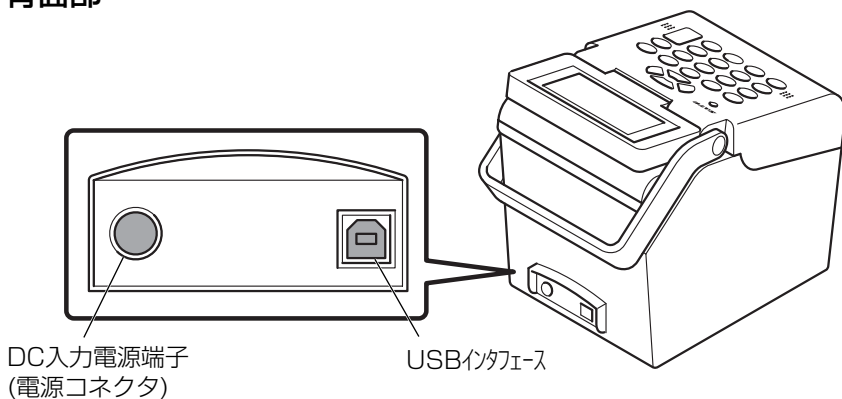
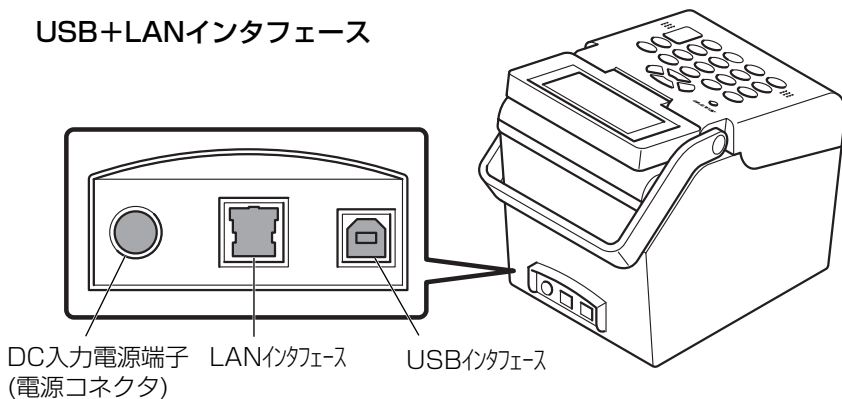
LCDパネル
充電ランプ
操作パネル
ハンドル
用紙排出口
台紙排出口
(ハクリモード時)

トップカバー
ハクリセンサ
サーマルヘッド
ヘッドカバー
用紙ホルダ
用紙押さえ
用紙ガイド
プラテンローラー
ハクリプレート
ハクリフレーム

右側面部

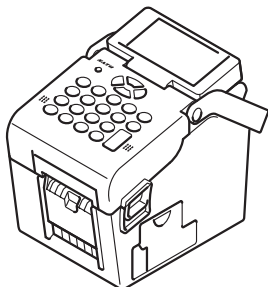
背面部

DC入力電源端子
(電源コネクタ)
USBｲﾝﾀﾌｪｰｽ

USB＋LANインタフェース

DC入力電源端子
(電源コネクタ)
LANｲﾝﾀﾌｪｰｽ
USBｲﾝﾀﾌｪｰｽ

第2章　基本操作について

ここでは、本プリンタの操作のおおまかな流れについて説明しています。
実際に印字する前に、必ず目を通しておいてください。

ラベルを印字します

① 設置します。

設置する前に「設置および取り扱い上のご注意」（12ページ）を、必ずご覧ください。

壁コンセントに直接つないで使うときは…

付属のACアダプタを取り付けます。

壁コンセントのないところで使うときは…

オプション（別売）のバッテリパックを取り付けます。
「バッテリパックの充電」79ページをご覧ください。

② 電源をいれます。

●ACアダプタまたはバッテリパックのどちらかをセットして、操作パネルの電源キーを押してONにします。

③ 用紙をセットします。（21ページ）

●用紙の印字面を上にしてください。
●本体を開けて、用紙ホルダに用紙をセットします。
連続印字のときとハクリ印字のときでは、用紙のセットのしかたが多少異なります。

連続印字

ハクリ印字

④ ラベル作成の準備をします。

●カレンダ設定をします。
●価格総額表示を設定します。
●初期設定をします。（各発行モードごと）
　ラベルをどのようなスタイル（ラベルのサイズ、価格の印字位置など）で印字するかを決めます。
●呼出し発行の時は、FIツールでデータを作成し、プリンタにデータを移します。

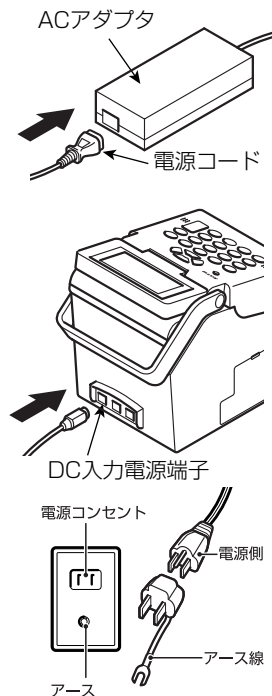
⑤ ラベルを発行します。

⑥ 操作を終えるときは、電源を切ります。

電源を入れてみましょう

本プリンタを、壁コンセントのある場所で使用するときは、付属の専用ACアダプタを接続します。

注意 本プリンタに付属のACアダプタセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

専用ACアダプタを接続する

本プリンタ側の接続

1 ACアダプタと電源コードを接続してください。

2 差し込む方向を確認して、本プリンタのDC入力電源端子に挿入します。

壁コンセント側の接続

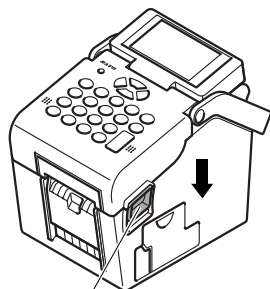
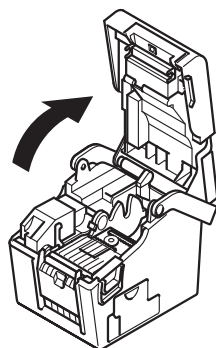
3 壁コンセントに電源コードのプラグをしっかりと差し込みます。

4 (電源) キーを1秒間以上押し、電源を入れます。

注意

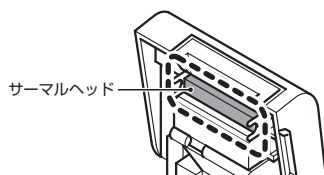
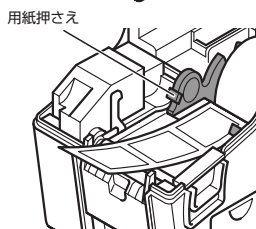
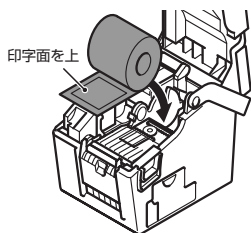
- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。
- ACアダプタのDC入力電源端子を取り外す際や、電源供給を切る際は、必ずプリンタの電源をオフにしてください。
  データ入力中または保存中に電源を切ると、データが正しく更新されない場合がありますのでご注意ください。
- ACアダプタを使用する場合、バッテリパック（オプション）は不要です。バッテリパックとACアダプタを同時に使用した場合、ACアダプタからの電源供給が優先されます。
- 必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となりますのでご注意ください。
- 消費電力の大きい電気製品と同じ電源や、その近くの電源から電気を供給しないでください。

用紙をセットする

本プリンタは「連続」「ティアオフ」「センサ無視（ジャーナル）」「ハクリ」モードでラベルを印字することができます。用紙セットの手順1から4までは共通になっています。「カッタモード」における用紙設定については「カッタモードの場合（オプション）」（78ページ）をご覧ください。
また、サトー純正用紙のご使用をお願いします。

1 本体側面のカバー開閉ボタンを矢印方向に押します。

2 トップカバーを引き上げるようにして開けます。

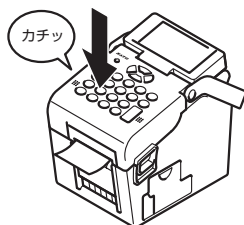
注意

- 印字直後は、トップカバー側にあるサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後に用紙をセットするときには、火傷しないように充分注意してください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れると、ケガをする恐れがありますのでご注意ください。

3

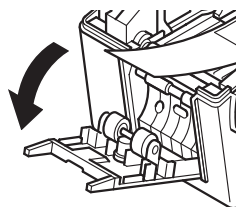
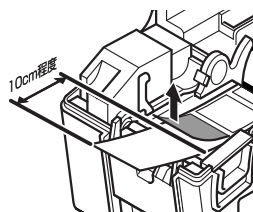
用紙を用紙ホルダにセットします。
用紙は、印字面を上にしてセットしてください。
用紙には、表巻きと裏巻きの2種類があります。
24ページ「用紙の巻き方向について」をご覧ください。

4

用紙ガイドをスライドさせ、用紙幅に合わせます。
用紙が用紙押さえの下を通るようにします。

連続／ティアオフ／センサ無視（ジャーナル）モードの場合

5

用紙先端を開口部から数センチ出した状態で、トップカバーを閉じます。
カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

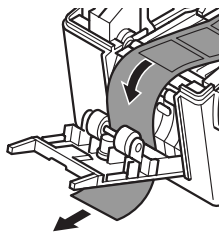
ハクリモードの場合

5

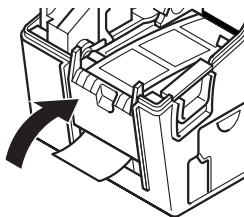
手順1～4が終わっていることを確認してください。

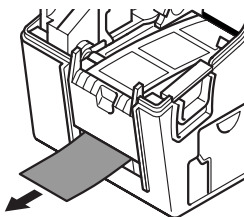
6

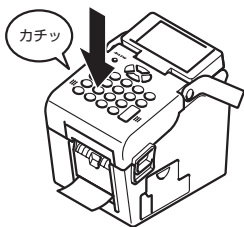
ラベルを台紙から10センチ程度はがします。

7

本体前面のハクリフレームを、手前に倒します。

8

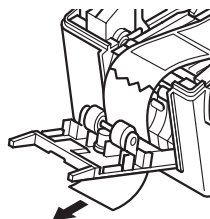
台紙を、ハクリフレームの開口部に通します。
ハクリプレートとプラテンローラーの間には通さないでください。

9

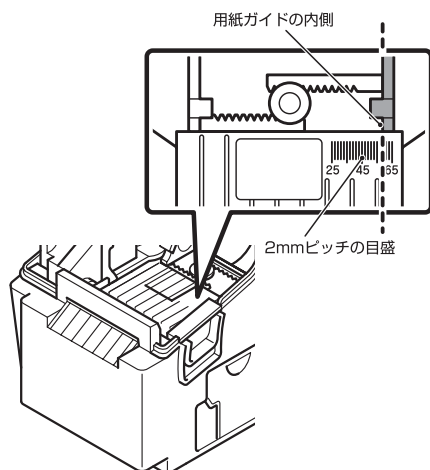
ハクリフレームを閉めます。

10

台紙を軽く引いて、ラベルのたるみをなくします。

11

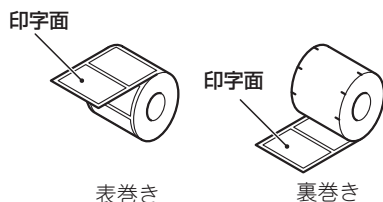
トップカバーを閉じます。
カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

重要 ラベル交換時の注意

台紙を抜き取る際は、必ず、ハクリフレームを開け、台紙を切り取り、矢印方向に引き抜いてください。
ハクリフレームを閉めた状態で、無理に台紙を引き抜きますと、故障の原因となる場合があります。

用紙幅を確認する方法

下図の目盛りを使用して、用紙幅を測ることが可能です。

用紙をセットした後、用紙ガイドの内側と目盛りを合わせるようにして、用紙幅を測ります。用紙幅の目盛りは25～65mmまで表示されており、1目盛が2mmです。

用紙の巻き方向について

表巻き　　裏巻き

用紙は、表巻きと裏巻きがあります。印字面を上にしてセットしてください。
【表巻き】印字面がラベル外側に面している
【裏巻き】印字面がラベル内側に面している

用紙の種類について

用紙の種類によって、ラベル裏面のアイマークの位置が異なります。

【ヒットカットラベル】

バーラベ固定ラベル

紙送り方向

1枚

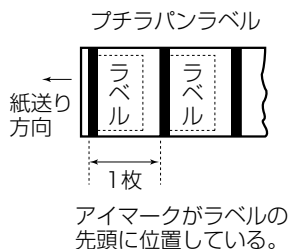
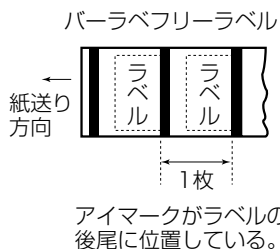
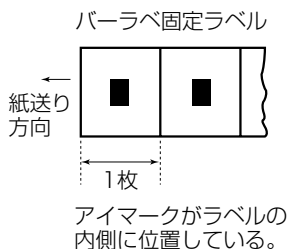
アイマークがラベルの内側に位置している。

【ラベル】

バーラベフリーラベル

アイマークがラベルの後尾に位置している。

プチラパンラベル

アイマークがラベルの先頭に位置している。

発行モードの種類

1. 呼出し発行

あらかじめFIツール（14ページ）で作成した呼出しデータをSDカードにダウンロードします。本プリンタにSDカードを挿入し、SDカードに登録した呼出しデータを呼出して、ラベルを発行します。
ラベルの用紙種別、ラベルの発行形態、印字位置調整、バーコード印字の有無などの設定方法に関しては、「第3章　呼出し発行」（34ページ）をご覧ください。

2. オンライン発行

本プリンタとコンピュータをオンラインケーブルで接続し、オンライン発行ができます。ただし、無線LANインタフェースでオンライン発行する場合には、オンラインケーブルは必要ありません。
印字するフォーマットや印字データ、発行枚数などは、コンピュータ側で指定します。
用紙種別、発行形態、印字位置調整などの設定方法に関しては、「第4章　オンライン発行」（37ページ）をご覧ください

3. 固定発行

本プリンタに登録してある25種類のフォーマットを使用して、ラベルを発行します。ラベルのサイズとバーコードの種類を「固定発行ラベルとバーコードの種類」（44ページ）で確認してください。
用紙サイズ、プリセットデータの登録場所、印字内容の選択（リサイクルマーク、原産地、日付、￥マーク、価格カンマ、プリセットNo印字等）、価格文字サイズ、ラベルの発行形態、ガードバー、価格印字位置などの設定方法に関しては、「第5章　固定発行」（39ページ）をご覧ください。

4. 値下CODE128

本プリンタに登録してあるフォーマット（CODE128）を使用して、商品の値下げラベルを発行します。「円引き」、「%引き」、「新価格」、「円引き後価格」、「%引き後価格」の5つの値引き処理が行えます。
用紙種別、発行形態、チェックラベルの有無、印字調整位置などの設定方法に関しては「第6章　値下CODE128」（60ページ）をご覧ください。

5. 値下JAN2段

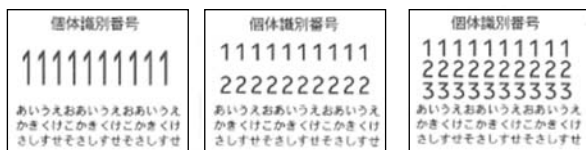
本プリンタに登録してあるフォーマット（JAN2段）を使用して、商品の値下げラベルを発行します。「円引き」、「%引き」、「新価格」の3つの値引き処理が行えます。
発行形態、チェックラベルの有無、印字調整位置などの設定方法に関しては「第7章　値下JAN2段」（62ページ）をご覧ください。

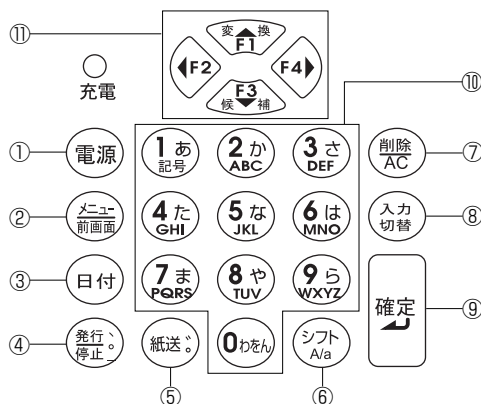
6. 個体識別

本プリンタに登録してあるフォーマット（個体識別）を使用して、「継承ラベル」および「個体識別番号ラベル」を発行します。
発行形態、チェックラベルの有無、印字調整位置、部位名印字、部位テーブルNo.印字、産地名印字、産地テーブルNo.印字、日付印字、ラベルサイズ、バーコード種などの設定方法に関しては「第8章　個体識別」（64ページ）をご覧ください。

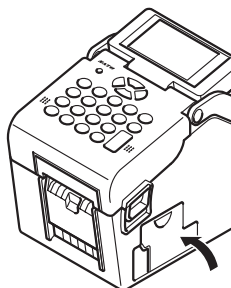
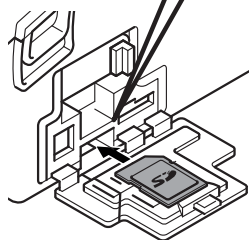
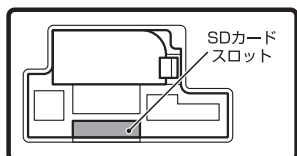
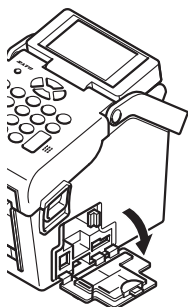
継承ラベル

個体識別ラベル

第2章　基本操作について

キーのはたらき

本プリンタを操作するときはキーボードを使います。ここでは、それぞれのキーのはたらきを紹介します。

	本書での表現	はたらき
①	電源	● 電源OFF時に押すと電源がONになります。電源ON時に1秒間以上押すと電源がOFFになります。
②	メニュー/前画面	●操作の途中で、前の画面に戻りたいときに押します。 ●1階層上へ戻りたいときは1秒間以上押します。
③	日付	●カレンダを一時変更するときに押します。(固定発行のみ)
④	発行/停止	●ラベルが印字されている途中で印字を停止したり、印字を再開させたりするときに押します。 ●入力状態が「漢字(ひらがな)」および「カタカナ」のとき、句読点などが入力できます。
⑤	紙送	●用紙を送りたいときに押します。 ●入力状態が「漢字(ひらがな)」および「カタカナ」のとき、濁音(゛)半濁音(゜)が入力できます。
⑥	シフト	●品名入力で、小さい文字(拗音・促音・小文字など)、スペースを入力するときに押します。 ●英文字の全角・半角変換するときに押します。
⑦	削除/AC	●データを入力している画面で、カーソル位置にある文字を削除します。 ●入力した文字を全て消したいときは1秒間以上押します。
⑧	入力切替	●品名入力で入力状態を切り替えるときに押します。 ●呼出し発行時、呼出し名検索やバーコード検索を使用する時に押します。 ●漢字(ひらがな)⇒全角カタカナ⇒半角カタカナ⇒英大文字⇒英小文字⇒数字⇒JIS入力の順に替わります。
⑨	確定	●入力したデータを確定したり、操作を進めるときに押します。
⑩	数字キー/ 文字キー	●数字キーは、価格やバーコードデータなどの数値を入力するときに押します。 ●品名入力のときは、漢字(ひらがな)・カタカナ・英文字が入力できます。
⑪	▲/F1 ◀/F2 ▼/F3 ▶/F4	●項目を選ぶ画面では■(カーソル)が表示されます。▲/F1 ◀/F2 ▼/F3 ▶/F4 を押して、カーソルの目的の項目に合わせます。 ●バーコードデータなどを入力するときは、カーソル位置に文字が入ります。 ●▲/F1 で、入力した文字を漢字変換します。 ●▼/F3 で、入力した文字の変換候補に移動します。

SDカードの使用について

SDカードの取り扱い

SDカード（オプション）

挿入方法

1. バッテリカバーを開けます。
2. SDカードの上下、挿入方向を確認し、SDカードを奥まで差し込みます。
3. バッテリカバーを閉じます。

取り出し方法

1. バッテリカバーを開けます。
2. SDカードを奥まで押し、指を離すとSDカードが少し出ますので、SDカードを取り出します。
3. バッテリカバーを閉じます。

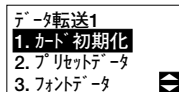
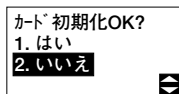
注意

●プリンタの電源がONの場合、SDカードの挿入・取り出しを行わないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。SDカードの挿入・取り出し時は、必ずプリンタの電源を切ってから行ってください。

●SDカードアクセス中は、絶対にSDカードを取り出したり、プリンタの電源をOFFにしないでください。画面表示が不正になったり、SDカードを破損する原因となります。

SDカードの初期化

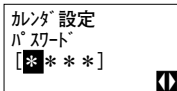
SDカードを初めて使用するときは、初期化を行ってください。
SDカードがSDカードスロットに挿入されていることを確認してください。

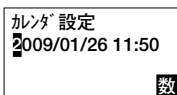
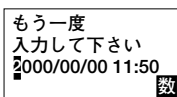
「ﾒﾆｭｰ(1/3)」→“3.設定”→「設定(1/2)」→“3.ﾃﾞｰﾀﾒﾝﾃﾅﾝｽ”→「ﾃﾞｰﾀﾒﾝﾃﾅﾝｽ」→“1.ﾃﾞｰﾀ転送”→「ﾃﾞｰﾀ転送1」画面 を呼び出します。各画面で(▲/F1)(▼/F3)または数字キーを使って各項目番号を選択し、(確定)キーを押してください。

1 “1. ｶｰﾄﾞ初期化”を選択し、(確定)キーを押します。

2 “1. はい”を選択し、(確定)キーを押します。

SDカード初期化完了後は、「ﾃﾞｰﾀ転送1」画面に戻ります。

カレンダを設定する

カレンダ設定

本プリンタのカレンダ（日時）を直したいときに設定してください。

- セキュリティ対策としてパスワード設定をおすすめします。

1

「ﾒﾆｭｰ（1/3）」→“3.設定”→「設定（1/2）」→“2.ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃﾅﾝｽ”→「ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃ1」→“1.カレンダ設定”→「カレンダ設定」画面を呼出します。

パスワードを入力し、(確定)キーを押します。（75ページを参照）

2

ｶﾚﾝﾀﾞ 設定
2009/01/26 11:50
数

(◀/F2)(▶/F4) キーでカーソルを左右に移動し、カレンダの「年」「月」「日」「時間」「分」を入力し、(確定) キーを押します。

3

もう一度
入力して下さい
2000/00/00 11:50
数

カレンダ確認画面が表示されますので、再度、「年」「月」「日」「時間」「分」を入力し、(確定)キーを押します。

参考　二度入力することにより、誤設定を防止します。

カレンダを一時変更する

この機能は出荷する製品に貼るラベルを前もって（生産日又は出荷日前に）作成するときに便利です。

カレンダを一時変更する

①「メニュー」から“4.固定発行”を選択し（矢印キーでカーソル移動）、(確定) キーを押します。

②「フォーマットNo」画面が表示されたら、(日付) キーを押します。
＊この画面で (▼/F3) キーを押すと「プリセット」画面に進みます。

③「カレンダー時変更」画面が表示されます。変更する部分（日付、時間）にカーソルを移動し、カレンダを一時変更します。
(確定) キーを押すと一時変更を実行し、元の画面に戻ります。

④元の画面に戻ります。

②の「フォーマットNo」画面において、(▼/F3) キーを押すと「プリセット」画面に進みます。
“1.発行”を選択し（矢印キーでカーソル移動）、(確定) キーを押します。

「プリセットNo」画面が表示されたら、(日付) キーを押します。
変更する部分（日付、時間）にカーソルを移動し、カレンダを一時変更します。
(確定) キーを押すと一時変更した日付に変わります。

ﾌﾟﾘｾｯﾄNo
[ ]
2009/01/26 11:12
数

変更した日付が表示されます。

カレンダー時変更の有効範囲（カレンダー時変更が継続される範囲）は、“1アイテムのみ”か“電源を切るまで”です。有効範囲は「ユーザ設定」で設定できます。（71ページ）

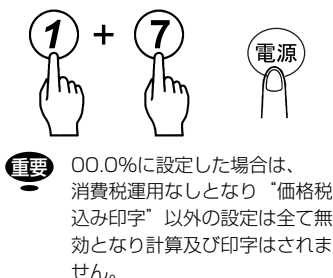
1 アイテムのみ…カレンダー時変更を行った後に印字される最初の1アイテムのみ有効となります。

電源を切るまで…カレンダー時変更を行った後、電源を切るまで一時変更が有効となります。

価格総額表示を設定する

プリンタに入力する価格やバーコード内にコピーされる価格（NON-PLU時）を『税抜き』にするか『税込み』にするかを決めます。
これらの設定をするときは、電源を切ってから行います。
価格総額表示の設定は、フォーマット毎に設定できません。固定発行のみ、対応になります。

各画面で、(▲/F1)(▼/F3)を使って選択して(確定)を押すか、数字キーを使って直接各項目番号を押して確定してください。

00.0%に設定した場合は、消費税運用なしとなり“価格税込み印字”以外の設定は全て無効となり計算及び印字はされません。

1

電源を切ります。

2

(1)と(7)を押しながら、(電源)をONにします。

3

固定発行の
消費税率設定を
行いますか
する　しない

税率を設定するかどうかを選び、(確定)を押します。

4

税率設定
00．0％
数

税率を00.0〜99.9間で入力し、(確定)を押します。

5

価格入力
1. 税込み
2. 税抜き

価格入力方法を選び、(確定)を押します。

6

バーコード
内価格
1. 税込み
2. 税抜き

バーコード内価格入力方法を選び、(確定)を押します。

7

端数処理
1. 切捨て
2. 切上げ
3. 四捨五入

消費税の端数処理を選び、(確定)を押します。

“なし”の場合：¥1,980
“前”の場合　：税込¥1,980
“後”の場合　：¥1,980税込

価格総額設定の変更は手順10で“はい”を選んだ場合のみ有効です。

8

価格の前後に「税込」印字をするかを選び、(確定)を押します。

9

総額表示テーブルを選び、(確定)を押します。

10

設定変更するかどうかを選び、(確定) を押します。

11

設定内容を印字するかどうかを選び、(確定)を押します。

“する”を選んだ場合、設定内容を印字します。
用紙がセットされていない場合、エラーメッセージが表示されます。正しい用紙をセットしてエラーを解除してください。

第3章　呼出し発行

あらかじめFIツールで作成した呼出しデータをSDカードにダウンロードします。本プリンタにSDカードを挿入し、SDカードに登録した呼出しデータを呼出して、ラベルを発行します。「呼出しNo」、「呼出し名検索」、「バーコード検索」を使用して、SDカードから必要なフォーマットを呼出すことができます。

【呼出しNo】　　任意で作成した呼出しデータの番号で検索します。
【呼出し名検索】　任意で登録した呼出し名で検索します。
【バーコード検索】登録済みのバーコードで検索します。

本プリンタの初期設定の流れを説明します。なお、詳しい操作説明は添付のCD-ROMをご覧ください。

呼出し発行の初期設定

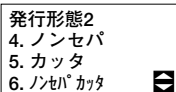
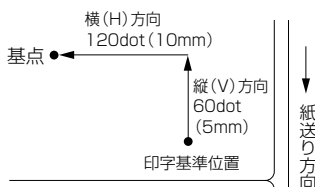
各画面で、(▲/F1)(▼/F3)を使って選択して(確定)を押すか、数字キーを使って直接各項目番号を押して確定してください。

参考　用紙の種類について（24ページ）をご覧ください。

カッタを搭載している場合の画面です。

注意　発行動作に合った発行形態を選択してください。

[印字位置調整の設定例]
印字基準位置から
縦（V）方向に+60dot（5mm）
横（H）方向に+120dot（10mm）
離れた位置を基準とする設定例を示します。

1

「ﾒﾆｭｰ(1/3)」→"3.設定"→「設定(1/2)」→"1.初期設定"→「各種設定1」画面を呼出します。

"1. 呼出し発行"を選び、(確定)を押します。

2

用紙種別
1. ﾊﾞｰﾗﾍﾞ固定ﾗﾍﾞﾙ
2. ﾊﾞｰﾗﾍﾞﾌﾘｰﾗﾍﾞﾙ
3. ﾌﾟﾁﾗﾊﾟﾝﾗﾍﾞﾙ

用紙の種別を選び、(確定)を押します。

3

発行形態を選び、(確定)を押します。

参考　通紙が「ハクリ」にセットされている場合は、発行形態の設定にかかわらずハクリ発行します。

4

印字位置調整
縦[↓00]ドット
横「→00」ドット
数

本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。
よって、1dot=0.083mmとなります。

(▲/F1)(▼/F3)を押して、縦方向/横方向を選択して、(確定)を押します。

呼出し名検索文字桁数設定

呼出し発行において、「呼出し名検索」を行う時の検索文字数を設定します。

5

呼出し名検索
文字桁数設定

先頭から何桁検索するか、桁数を1から8間で入力し (確定) を押します。

バーコード検索

呼出し発行において、「バーコード検索」を行う場合は、“1.あり”を選択します。

6

バーコードの検索するかどうかを選び、(確定)を押します。

呼出し発行履歴データ転送

呼出し発行の履歴データ起動時伝送の有無を設定します。
履歴データ件数が500件になるとSDカードに履歴データを保存して、履歴データを消去してください。

7

履歴データを転送するかどうかを選び、(確定)を押します。

8

1台のホストにLANで複数台ネットワーク接続した場合、ホスト側の画面から、個々のプリンタが識別出来るようにするための番号です。

連番保持機能

ラベルに通し番号を印字します。本プリンタの電源を切っても、通し番号は保持されます。ただし、電源を切る前と同一の呼出しデータを選択した場合に限ります。

9

発行時の連番を保持するかどうかを選び、(確定)を押します。

都度発行機能

- 「都度発行」はハクリ発行時のみ有効です。
- 「都度発行」を“あり”にすると、(発行／停止)キーを押す毎に、ラベルを1枚印字します。
  “なし”にすると、(発行／停止)キーを押すまで、ラベルを1枚ずつ印字します。

10

都度発行するかどうかを選び、(確定)を押します。

「用紙種別」画面に戻ります。

「呼出し名検索」について

呼出し名検索を行うためには、FIツールで検索項目に登録する必要があります。
あらかじめFIツールで作成した呼出しデータを「呼出し名検索」を使ってSDカードから呼出します。
「呼出しNo」画面で、(入力切替) キーを押して「呼出し名検索」画面を表示します。

テンキーで文字入力を行います。(入力切替) キーで入力文字種（カナ、英大・小文字、数字）を選択できます。呼出し名を入力し、(確定) キーを押して検索を開始します。

呼出し名検索結果が表示されます。2段目に検索入力データ、3段目と4段目に候補が表示されます。全ての候補が表示されるため、複数の場合は、次画面に続きます。(▲/F1)、(▼/F3) キーで候補を選択し、(確定) キーで決定します。
該当する呼出しデータがない場合は、検索エラーとなり、「呼出し名検索」画面に戻ります。

「検索結果」の候補から選択した呼出し名が3段目に表示され、それに該当する呼出しNoが2段目に表示されます。

「バーコード検索」について

バーコード検索を行うためには、FIツールで検索項目に登録する必要があります。
あらかじめFIツールで作成した呼出しデータを「バーコード検索」を使ってSDカードから呼出します。
「呼出し名検索」の画面で、(▲/F1) キーを押して「バーコード検索」画面を表示します。

バーコードを手入力して (確定) キーを押す、またはバーコードをスキャナで読取り、検索を開始します。

バーコード検索結果が表示されます。2段目に該当するバーコードが表示されたら (確定) キーで決定します。
該当する呼出しデータがない場合は、検索エラーとなり、「バーコード検索」画面に戻ります。

「検索結果」で表示されたバーコードに該当する呼出しNoが2段目に表示され、それに該当する呼出し名が3段目に表示されます。

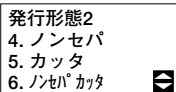
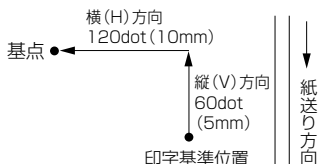
第4章　オンライン発行

本プリンタとコンピュータをオンラインケーブルで接続し、ラベルをオンライン発行します。オンライン発行には、「オンライン」「オンライン発行中」「オフライン停止中」「オフライン」の4つの動作があります。LANの設定については、「第9章　環境設定　3.通信設定」をご覧ください。

【オンライン】　オンライン状態で印字データの入力を待っています。
【オンライン発行中】　オンライン発行し、ラベル発行枚数をカウントダウンします。
【オフライン停止中】　オンライン発行を停止しています。停止の場合、「停止中」を表示します。
【オフライン】　オフライン状態です。

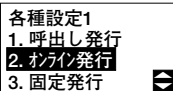
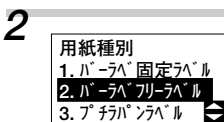
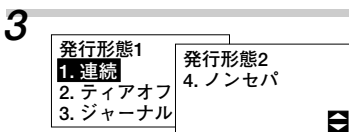
オンライン発行の初期設定

各画面で、(▲/F1)(▼/F3)を使って選択して(確定)を押すか、数字キーを使って直接各項目番号を押して確定してください。

参考　用紙の種類について（24ページ）をご覧ください。

重要　カッタを搭載している場合の画面です。

注意　発行動作に合った発行形態を選択してください。

[印字位置調整の設定例]
印字基準位置から
縦（V）方向に+60dot（5mm）
横（H）方向に+120dot（10mm）
離れた位置を基準とする設定例を示します。

1

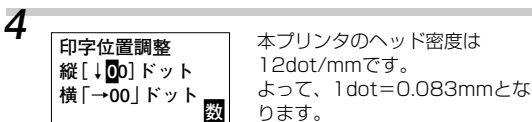
「ﾒﾆｭｰ(1/3)」→“3.設定”→「設定(1/2)」→“1.初期設定”→「各種設定1」画面を呼出します。

“2. オンライン発行”を選び、(確定)を押します。

2

用紙の種別を選び、(確定)を押します。

3

発行形態を選び、(確定)を押します。

参考　通紙が「ハクリ」にセットされている場合は、発行形態の設定にかかわらずハクリ発行します。

4

本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。
よって、1dot=0.083mmとなります。

(▲/F1)(▼/F3)を押して、縦方向/横方向を選択して、(確定)を押します。

「用紙種別」画面に戻ります。

オンライン発行画面

本プリンタとコンピュータをオンラインケーブルで接続し、オンライン発行ができます。メニュー画面で“2.ｵﾝﾗｲﾝ発行”を選択し、「オンライン」画面を表示します。

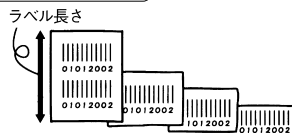
オンライン 000000枚 ｼﾌﾄ：ｵﾌﾗｲﾝ	「オンライン」画面が表示されたら、コンピュータからデータを送信してください。 (シフト) キーで「オフライン」画面に移行します。
オフライン 000000枚 ｼﾌﾄ：ｵﾝﾗｲﾝ	オフライン状態です。ラベルは発行できません。 (シフト) または (発行/停止) キーで「オンライン」画面に移行します。

第5章　固定発行

本プリンタに登録してある25種類のフォーマットを使用して、ラベルを発行します。ラベルのサイズとバーコードの種類を「固定発行ラベルとバーコードの種類」（44ページ）で確認し、「フォーマットNo」を使用して、フォーマットを選択することができます。本発行モードでの基本的な画面の流れを説明します。また、57ページの「ラベル発行してみましょう」も併せてご参照ください。

固定発行の初期設定

各画面で、(▲/F1)(▼/F3)を使って選択して(確定)を押すか、数字キーを使って直接各項目番号を押して確定してください。

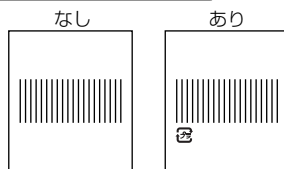
ラベル長さ

- ここで設定した同じラベル長さの用紙をセットしてください。
- ラベル幅は32mmに固定されています。

プリセットデータ

ラベルに印字するデータ（品名・コード・バーコード・価格など）を登録しておくことができます。登録したデータをプリセットデータと呼びます。

リサイクルマーク

なし　　あり

1

「ﾒﾆｭｰ（1/3）」→“3.設定”→「設定（1/2）」→“1.初期設定”→「各種設定1」画面を呼出します。

各種設定1
1. 呼出し発行
2. ｵﾝﾗｲﾝ発行
3. 固定発行

“3. 固定発行”を選び、(確定)を押します。

2

ラベル長さを選び、(確定)を押します。

3

プリセットデータの登録先を選び、(確定)を押します。

4

（用紙サイズ35mm選択時のみ表示）

リサイクルマークをつけるかつけないかを選び、(確定)を押します。

リサイクルマークテーブルNoに関しては、99ページをご覧ください。

5

（用紙サイズ35mm選択時のみ表示）

リサイクルマークテーブルNo.の初期値を（01〜13、20）を入力し、(確定)を押します。

リサイクルマークテーブルNo.の初期値は未入力でも可能です。

原産地

6

（用紙サイズ35mm選択時のみ表示）

原産地をつけるかつけないかを選び、(確定)を押します。

原産地テーブルNoに関しては、100ページをご覧ください。

7

（用紙サイズ35mm選択時のみ表示）

原産地テーブルNo.の初期値を（001〜047、101〜156）を入力し、(確定)を押します。

日付

8

日付印字
1. あり
2. なし

日付をつけるかつけないかを選び、(確定)を押します。

ラベルサイズが25mmと35mmの時だけ、日付を印字することができます。

日付手入力

フォーマット印字、プリセット呼び出し印字で日付入力画面を表示し、日付を手入力します。

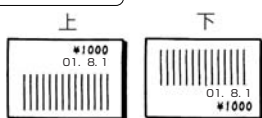
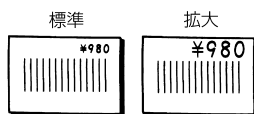
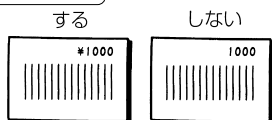
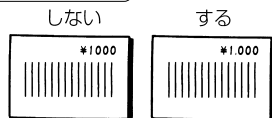
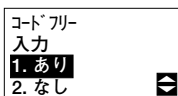
9

手順10で“あり”を選んだときだけ、この画面が表示されます。“なし”を選んだときは、表示されません。

日付を手入力するかしないかを選び、(確定)を押します。

コードフリー入力

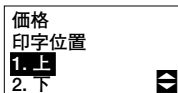
フォーマット印字、プリセット呼び出し印字で8桁のデータ入力画面を表示し、8桁以内でフリーにデータを入力します。日付は手入力になります。

10

手順11で“あり”を選んだときだけ、この画面が表示されます。“なし”を選んだときは、表示されません。

コードフリー入力するかしないかを選び、(確定)を押します。

価格の位置

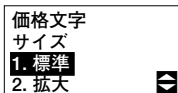
上　　下

11

価格の位置を選び、(確定)を押します。

価格の位置によって、日付·品名·原産地等の位置もかわります。

価格の大きさ

標準　　拡大

12

手順10で日付“あり”を選んだときやプリセット発行時は、ラベルサイズによっては、拡大印字できません。

価格の大きさを選び、(確定)を押します。

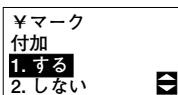
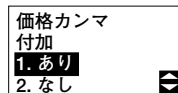
¥マーク

する　　しない

13

¥マークをつけるかつけないかを選び、(確定)を押します。

価格カンマ

しない　　する

14

価格にカンマをつけるかつけないかを選び、(確定)を押します。

プリセットNo印字

する　　しない

■プリセット番号→「○○○○」

ガードバー

普通　　長い

ガードバー

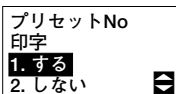
リアルタイム印字

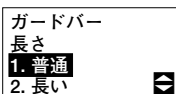
発行毎にカレンダ印字の更新をします。（発行時のカレンダに従って、カレンダ印字を行います。）

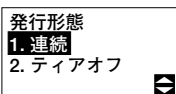
ラベルを発行する際は(発行／停止)を押します。

都度発行機能

(発行／停止) を押す毎に、ラベルを1枚印字します。

15

プリセット番号を印字するかどうかを選び、(確定)を押します。

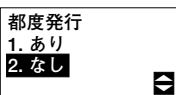
16

ガードバーを長く印字するかしないかを選び、(確定)を押します。

17

印刷方法を選び、(確定)を押します。

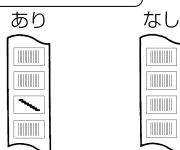
- 連続…………必要な枚数のラベルを、連続して印字することができます。（連続印字）
- ティアオフ……必要な枚数のラベルを連続して印字した後、簡易カッタの位置まで自動的に送りだすことができます。

18

リアルタイム印字をするかどうかを選び、(確定)を押します。

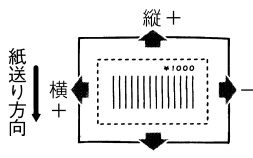
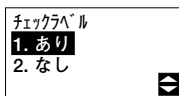
19

リアルタイム印字で“OFF”を選んだときだけ、この画面が表示されます。“ON”を選んだときは、表示されません。

都度発行をするかどうかを選び、(確定)を押します。

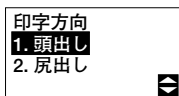
チェックラベル

「チェックラベル」とは、印字ヘッドの状態を確認するために印字するラベルのことです。アイテムの区切りにも利用出来ます。→「第10章　あれ？どうしたのかな？」（90ページ）

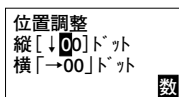
印字方向

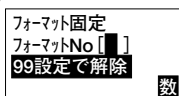
印字位置調整

20

参考　手順19で“連続”を選んだときだけ、この画面が表示されます。“ティアオフ”を選んだときは、表示されません。

チェックラベルを印字するかどうかを選び、(確定)を押します。

21

印刷方向を選び、(確定)を押します。

22

(▲/F1)(▼/F3)を押して、縦方向/横方向を選択して、(確定)を押します。

23

固定発行時の固定フォーマット設定画面です。フォーマット番号を入力し、(確定)を押します。

99を入力すると、フォーマット固定が解除され、全てのフォーマットが選択できるようになります。

「各種設定１」画面に戻ります。

固定発行ラベルとバーコードの種類

本プリンタには25種類のフォーマットが用意されていますので、それを利用して簡単にラベルを作ることができます。
フォーマットは、ラベルのサイズとバーコードの種類によって選べるようになっていますので、印字する前に、使用するラベルのサイズとバーコードの種類を確認しましょう。
ラベル幅は32mmに固定されています。

ラベルの長さは？▶バーコードの桁数は？▶フォーマット番号は？

ラベルの長さ	バーコードの桁数	番号	フォーマット	種別
16mm	13桁 （JAN13）	41	◇◇○○○○○PPPPPC	(NON-PLU)
		42	◇◇○○○○PPPPPPC	(NON-PLU)
	バーコードなし	43	バーコードなし	
20mm／25mm および35mm	8桁 （JAN8）	01	＊＊＊＊＊＊＊C	(PLU)
		02	49＊＊＊＊＊C	(PLU)
		03	0＊＊＊＊＊＊C	(PLU)
		04	45＊＊＊＊＊C	(PLU)
		21	◇△△PPPPC	(NON-PLU)
		22	2△△PPPPC	(NON-PLU)
	13桁 （JAN13）	11	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊C	(PLU)
		12	49＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊C	(PLU)
		13	04＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊C	(PLU)
		14	45＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊C	(PLU)
		31	◇◇○○○○○P/CPPPPC	(NON-PLU)
		32	◇◇○○○○○PPPPPC	(NON-PLU)
		33	◇◇○○○○○○PPPPC	(NON-PLU)
		34	02○○○○○P/CPPPPC	(NON-PLU)
		35	02○○○○○PPPPPC	(NON-PLU)
		36	02○○○○○○PPPPC	(NON-PLU)
		38	◇◇○○○○PPPPPPC	(NON-PLU)
	UPC-A	07	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊C	(PLU)
	UPC-E	08	0＊＊＊＊＊＊C	(PLU)
20mm／25mm	バーコードなし	39		
38mm	8桁 （JAN8）	45	＊＊＊＊＊＊＊C	(PLU)
			＊＊＊＊＊＊＊C	(PLU)
	13桁 （JAN13）	55	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊C	(PLU)
			＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊C	(PLU)

＊………フリー入力
◇………フラグ
△………コード
○………アイテムコード
P………価格
C………チェックデジット
P/C………プライスチェックデジット

■PLUとは
ソースマーキングと呼ばれ、メーカーまたは発売元で商品コードをバーコード化するもので、価格がバーコードの中に含まれていないものです。

例）49　△△△△△　○○○○○　C　（本プリンタのフォーマット番号12）
フラグ　メーカーコード　アイテムコード　チェックデジット

■NON PLUとは
インストアマーキングと呼ばれ、生鮮品や日配品など店舗ごとに、アイテムコードや価格などをバーコード化するもので、価格がバーコードの中に含まれているものです。

例）02　○○○○○○　PPPP　C　（本プリンタのフォーマット番号36）
フラグ　アイテムコード　価格　チェックデジット

第5章　固定発行

35mm

8桁（JAN8）

No.	ラベル	形式
01	123 ¥123456 / 1234 5670 / 愛知県産	*******C
02	123 ¥123456 / 4912 3458 / 愛知県産	49*****C
03	123 ¥123456 / 0123 4565 / 愛知県産	0******C
04	123 ¥123456 / 4512 3450 / 愛知県産	45*****C
21	33 ¥1234 / 0331 2348 / 愛知県産	◇△△PPPPC
22	33 ¥1234 / 2331 2340 / 愛知県産	2△△PPPPC

13桁（JAN13）

No.	ラベル	形式
11	123 ¥123456 / 1 234567 890128 / 愛知県産	************C
12	123 ¥123456 / 4 912345 678904 / 愛知県産	49***********C
13	123 ¥123456 / 0 412345 678903 / 愛知県産	04***********C
14	123 ¥123456 / 4 512345 678906 / 愛知県産	45***********C
31	123 ¥1234 / 2 233333 912346 / 愛知県産	◇◇00000P/CPPPPC
32	123 ¥12345 / 2 233333 123452 / 愛知県産	◇◇00000PPPPPC
33	123 ¥1234 / 2 233333 312344 / 愛知県産	◇◇000000PPPPC
34	123 ¥1234 / 0 233333 912348 / 愛知県産	0200000P/CPPPPC
35	123 ¥12345 / 0 233333 123454 / 愛知県産	0200000PPPPPC
36	123 ¥1234 / 0 233333 312346 / 愛知県産	02000000PPPPC
38	123 ¥123456 / 2 233331 234563 / 愛知県産	◇◇0000PPPPPPC

UPC-A/E

No.	ラベル	形式
07	123 ¥123456 / 0 123456 789012 / 愛知県産	************C
08	123 ¥123456 / 0 123456 5 / 愛知県産	0******C

価格総額表示対応

注意：総額表示テーブル(本体価格・消費税)の印字は25mm、35mmのラベルのみ印字可能です。

第5章 固定発行

35mm
8桁（JAN8）
01
02
03
04
21
22
*******C
49*****C
0******C
45*****C
◊ΔΔPPPPC
2ΔΔPPPPC
13桁（JAN13）
11
12
13
14
31
32
************C
49**********C
04**********C
45**********C
◊◊OOOOOP/CPPPPC
◊◊OOOOOPPPPPC
33
34
35
36
38
◊◊OOOOOOPPPPC
02OOOOOP/CPPPPC
02OOOOOPPPPPC
02OOOOOOPPPPC
◊◊OOOOPPPPPPC
UPC-A/E
07
08
************C
0******C

対応用紙サイズと印字フォーマット

フォーマット ＼ ラベルサイズ		16mm	20mm	25mm	35mm	38mm
No.01			△	○	○	
No.02			△	○	○	
No.03			△	○	○	
No.04			△	○	○	
No.07			△	○	○	
No.08			△	○	○	
No.11			△	○	○	
No.12			△	○	○	
No.13			△	○	○	
No.14			△	○	○	
No.21			△	○	○	
No.22			△	○	○	
No.31			△	○	○	
No.32			△	○	○	
No.33			△	○	○	
No.34			△	○	○	
No.35			△	○	○	
No.36			△	○	○	
No.38			△	○	○	
No.39			△	○		
No.41		△				
No.42		△		△		
No.43		△				
No.45						○
No.55						○
スキャナ対応	No.20	△	△	△		
	No.25					△

○：固定発行、総額表示対応しています。
△：固定発行、総額表示対応していません。
　　“税込”印字のみ対応します。

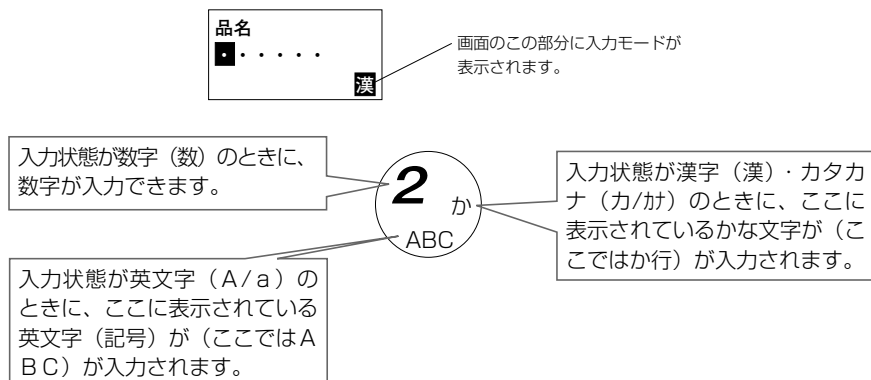
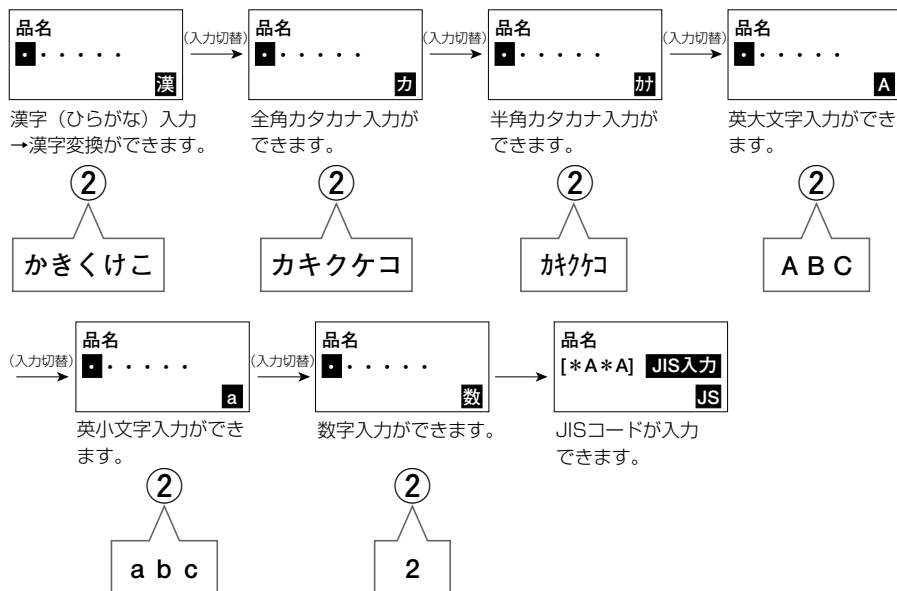
文字を入力する

漢字（ひらがな）・カタカナ・英文字（大文字、小文字）・数字・記号を入力することができます。

■漢字（ひらがな）・カタカナ・英文字・数字・記号の使い分け

スタート

a b c

2

（注）固定発行モードでは、漢字の場合は最大6文字まで登録可能です。
半角カタカナ・英文字・数字・記号は最大12文字まで登録可能です。

■いろいろな文字の入力のしかた

【漢字（ひらがな）】

(入力切替)を押して 漢字（ひらがな） モードにする。

種　類	例	入力方法
清　音	あ	あ
拗　音 （促音）	ぁ	あ＋(シフト) ※(シフト)を押すと、小文字に変換できます（下記■文字一覧参照）
濁　音 半濁音	ば ぱ	は＋(紙送)１回押す（゛） は＋(紙送)２回押す（゜） ※濁音（゛）半濁音（゜）は清音を入力した後に(紙送)を押します
句読点	、 。 ～ ―	(発行/停止) (発行/停止)×２回 (発行/停止)×３回

【英文字】

(入力切替)を押して A または a モードにする。

種　類	例	入力方法	
大文字	Ａ （全角） A （半角）	A（半角）＋(シフト) Ａ（全角）＋(シフト)	英大文字は、初期設定で半角に設定されています。シフトを押すと全角・半角の切替えができます。
小文字	ａ （全角） a （半角）	a（半角）＋(シフト) ａ（全角）＋(シフト)	英小文字は、初期設定で半角に設定されています。シフトを押すと全角・半角の切替えができます。

【スペース】

間隔をあけたい場所にカーソルを移動して(シフト)を押すと、スペースを入力することができます。

■文字一覧

各入力状態への切り替えかた	電源ON時	（入力切替）	（入力切替）	（入力切替）	（入力切替）	（入力切替）
状態／キー	漢字（ひらがな）	全角カタカナ	半角カタカナ	英大文字	英小文字	数字
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ1	アイウエオ ァィゥェォ1	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ1	. ―／：～（） ＃％＆！1	. ―／：～（） ＃％＆！1	1
2	かきくけこ2	カキクケコヵヶ2	ｶｷｸｹｺ2	ＡＢＣ2	ａｂｃ2	2
3	さしすせそ3	サシスセソ3	ｻｼｽｾｿ3	ＤＥＦ3	ｄｅｆ3	3
4	たちつてとっ4	タチツテトッ4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ4	ＧＨＩ4	ｇｈｉ4	4
5	なにぬねの5	ナニヌネノ5	ﾅﾆﾇﾈﾉ5	ＪＫＬ5	ｊｋｌ5	5
6	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	ﾊﾋﾌﾍﾎ6	ＭＮＯ6	ｍｎｏ6	6
7	まみむめも7	マミムメモ7	ﾏﾐﾑﾒﾓ7	ＰＱＲＳ7	ｐｑｒｓ7	7
8	やゆよゃゅょ8	ヤユヨャュョ8	ﾔﾕﾖｬｭｮ8	ＴＵＶ8	ｔｕｖ8	8
9	らりるれろ9	ラリルレロ9	ﾗﾘﾙﾚﾛ9	ＷＸＹＺ9	ｗｘｙｚ9	9
0	わをんゎ0	ワヲンヮ0	ﾜｦﾝ0	スペース0	スペース0	0
（発行/停止）	、。ー	、。ー	、。ー			
（紙送）	゛゜	゛゜	゛゜			

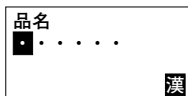
第5章　固定発行

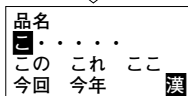
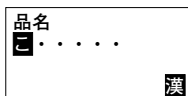
文字の入力方法

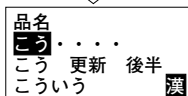
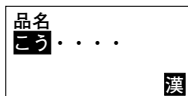
①漢字編

かな漢字変換機能を利用して、漢字が入力できます。漢字の入力方法を、例（高原野菜）にもとづいて説明します。この例では、「高原野菜」を「高原」と「野菜」に分けて、漢字変換を行っています。

例 高原野菜

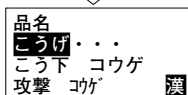
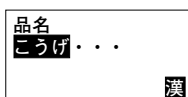
1

はじめに「こうげん」を入力し、「高原」に変換します。（2）（か）を5回押すと、「こ」が表示されます。

2

3段目、4段目に変換候補が順位の高い順に表示されます。
（1）（あ）を3回押すと、「う」が表示されます。

3

同様に変換候補が表示されます。
（2）（か）を4回押すと、「け」が表示されます。
次に（紙送゛）を1回押すと、「゛」が表示されます。

4

同様に変換候補が表示されます。
（0）（わをん）を3回押すと、「ん」が表示されます。

参考

- 入力中に（削除/AC）を押すと最後の1文字を消去して、別の変換候補が表示されます。長押しすると全て消去されます。
- 入力中に変換候補を選択しないで（確定）を押すと、変換されずに「ひらがな」で確定されます。
- 変換候補は最大10個まで表示されます。
- （▲/F1）キーを押すと、入力した文字を漢字変換できます。
- （▼/F3）キーを押すと、入力した文字の変換候補に移動できます。

● 変換候補選択中に(入力切替)を押すと選択中の候補が確定し、入力モードが切替ります。

5

(▼/F3)を押すと変換候補にカーソルが移動します。
(◀/F2)(▶/F4)キーで変換候補まで移動します。

6

(確定)を押すと、「高原」が品名として確定されます。

7

続いて、「やさい」を入力し、「野菜」に変換します。
(8)（や）を1回押すと、「や」が表示されます。

8

前の要項で「やさい」と入力します。
変換候補が表示されますので、(▼/変換)を押し、
(◀/F2)(▶/F4)キーで変換候補まで移動します。

9

(確定)を押すと、「野菜」が品名として確定されます。(確定)を押すと、登録が終了します。

同じ文字キーを続けて使用するときは

続けて同じ文字キーを使用しない文字の場合は、(▶)キーを押してカーソルをとなりに移動させる必要はありませんが、「かき」など、同じ文字キーを続けて使うときは、(▶)を押してから、次の文字を入力してください。

例　かき

①（か）を1回押します。

②そのまま(▶)を1回押します。

③（か）を2回押します。

漢字の挿入について

かな漢字変換の入力画面では、カーソル位置に文字が挿入できます。

（例）「高原野菜」の「野菜」の前に「新鮮」を挿入する場合

画面2段目の「野」にカーソルを移動します。

ひらがなで「し」「ん」「せ」「ん」と入力します。

(▼/F3)を押すと、変換候補にカーソルが移動します。(◀/F2)(▶/F4) キーで変換候補までカーソルを移動します。

(確定) を押すと、“新鮮”を確定し、挿入されます。

漢字の削除について

挿入と同じように、画面2段目のカーソル位置の文字が削除できます。

（例）

(◀/F2)を2回押して「新」にカーソルを移動します。

品名
高原鮮野菜
漢

(削除/AC) を押すと、「新」が削除され、左に文字が詰まります。
(削除/AC) の長押しで、全ての漢字を削除します。

漢字の追加について

漢字を確定した後、続けて入力します。

JIS漢字コード入力

JIS漢字コードを使用して漢字入力をします。

（例）「高原野菜」の「高原」と「野菜」の間に「新鮮」を入力します。

①文字を挿入する場所にカーソルを移動させます。

→

② (入力切替) を押し続け、JISコード入力画面を表示させます。

→

③「新」のJISコード3F37を入力し、(日付) を押します。

→

④「新」が表示されます。(確定) を押して決定します。

→

⑤「鮮」のJISコード412Fを入力し、(日付) を押します。
「鮮」が表示されたら (確定) で決定します。

→

⑥全ての文字が表示されたら (確定) を押して、決定します。

→

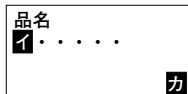
⑦ (入力切替) を押して、文字入力画面①に戻ります。
JIS漢字コードで入力した「新鮮」が指定した位置に挿入されていることを確認してください。

JIS漢字コードで数字を入力した場合は、カーソルが自動で右となりの桁に移動します。
アルファベット入力は、↓↑キーを押してA～Fを選び、→キーを押して右となりの桁に移動してください。

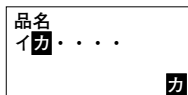
②カタカナ・英文字・数字・記号編

画面上に表示される■をカーソルと呼びます。カーソルがある位置に文字が入力されます。

例 イカ

1

(入力切替)を押して「カ」(全角カタカナ)を選択します。

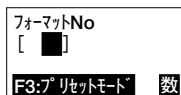
(1)（あ）を2回押します。
「イ」が表示されます。

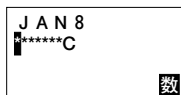
2

(2)（か）を1回押すと、カーソルが1つ右にずれて、「カ」が表示されます。
(確定)を押すと、「イカ」が登録されます。

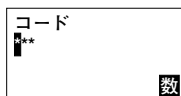
ラベル発行してみましょう

本プリンタに登録してあるフォーマットを使用して、ラベルを発行します。
まず、ラベルに印字する内容を入力します。フォーマット番号によって、バーコードの内容や桁数違ってきますので、作りたいバーコードのフォーマットを「固定発行ラベルとバーコードの種類」（44ページ）で確認してください。

1

「メニュー（2/3）」画面で“4.固定発行”を選ぶと、この画面が表示されます。

フォーマット番号を入力し、（確定）キーを押します。
（フォーマット01で説明します。）

2

バーコードを入力し、（確定）キーを押します。

3

コードを入力し、（確定）キーを押します。

4

原産地番号（100ページ）を入力し、（確定）キーを押します。

参考　原産地番号を入力すると原産地テーブルデータを表示します。
未入力でも次の画面に進みます。

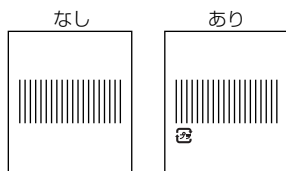
原産地

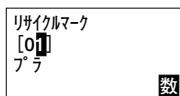
重要　初期設定で用紙サイズ35mmを選択し、かつ原産地“あり”を選択した場合のみ表示します。

5

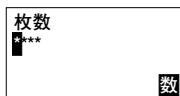
価格を入力し、（確定）キーを押します。

参考　“0”でも未入力でも次の画面に進みます。

リサイクルマーク

初期設定で用紙サイズ35mmを選択し、かつリサイクルマーク“あり”を選択した場合のみ表示します。

6

リサイクルマーク番号（99ページ）を入力し、(確定) キーを押します。

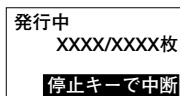
リサイクルマーク番号を入力するとリサイクルマークテーブルデータを表示します。
未入力でも次の画面に進みます。

7

発行するラベル枚数を入力し、(確定)キーを押します。

- “0”でも未入力でも次の画面に進みます。

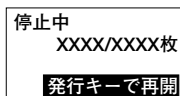
8

連続発行/ティアオフ発行中の画面です。

発行中
XXXX/XXXX枚
停止キーで中断

発行が終わると手順2に戻ります。

発行を停止させる

連続発行/ティアオフ発行の停止中画面です。

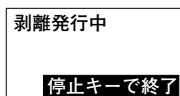
停止中
XXXX/XXXX枚
発行キーで再開

(発行／停止) キーを押します。発行が一時停止されます。

再度、(発行／停止)キーを押すと再開します。

参考 発行を終了させるときは、(削除)キーを押します。

ハクリ発行中

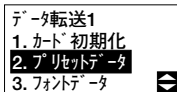
ハクリ発行中の画面です。

剥離発行中
停止キーで終了

(発行／停止) キーを押します。発行を終了します。

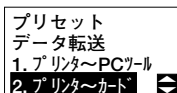
発行が終わると手順2に戻ります。

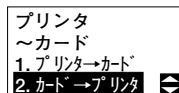
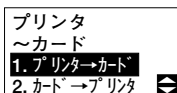
プリセットデータのコピー（本体メモリ ⇔ SDカード）

「ﾒﾆｭｰ（1/3）」→“3.設定”→「設定（1/2）」→“3.ﾃﾞｰﾀﾒﾝﾃﾅﾝｽ”→「ﾃﾞｰﾀﾒﾝﾃﾅﾝｽ」→“1.ﾃﾞｰﾀ転送”→「ﾃﾞｰﾀ転送1」画面を呼出します。各画面で（▲/F1）（▼/F3）または数字キーを使って各項目番号を選択し、（確定）キーを押してください。

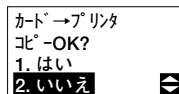
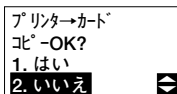
1

「ﾃﾞｰﾀ転送1」画面で、“2.ﾌﾟﾘｾｯﾄﾃﾞｰﾀ”を選択し、（確定）キーを押します。

2

プリセット
データ転送
1. ﾌﾟﾘﾝﾀ～PCﾂｰﾙ
2. ﾌﾟﾘﾝﾀ～ｶｰﾄﾞ

「プリセットデータ転送」画面で、“2.ﾌﾟﾘﾝﾀ～ｶｰﾄﾞ”を選択し、（確定）キーを押します。

3

「プリンタ～カード」画面でデータのコピー先を選択し、（確定）キーを押します。

SDカードからプリンタにデータをコピーする場合、1から2500件分のデータしかコピーできません。

4

選択したデータのコピー先を確認し、（確定）キーを押してコピーを開始します。

コピーが終了すると、「プリセットデータ転送」画面に戻ります。

第6章　値下CODE128

本プリンタに登録してある値下CODE128を使用して、商品の値下げラベルを発行します。
「円引き」、「%引き」、「新価格」、「円引き後価格」、「%引き後価格」の5つの値引き処理が行えます。

【円引き】　値下げ金額を設定します。
【%引き】　値下げ率を設定します。
【新価格】　表示価格を訂正し、新たな価格を設定します。
【円引き後価格】　値引きした後の価格を設定します。
【%引き後価格】　値下げ率を適用した後の価格を設定します。

本プリンタの初期設定の流れを説明します。なお、詳しい操作説明は添付のCD-ROMをご覧ください。

値下CODE128の初期設定

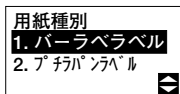
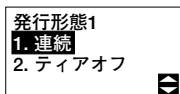
各画面で、(▲/F1)(▼/F3)を使って選択して(確定)を押すか、数字キーを使って直接各項目番号を押して確定してください。

1

「ﾒﾆｭｰ(1/3)」→“3.設定”→「設定(1/2)」→“1.初期設定”→「各種設定2」画面を呼出します。

```
各種設定2
4.値下CODE128
5.値下JAN2段
6.個体識別
```

“4.値下CODE128”を選び、(確定)を押します。

2

使用するラベルは以下の通りです。
24ページをご覧ください。
- バーラベラベル
  長さ25.4mm×幅55mm
- プチラパンラベル
  長さ25mm×幅55mm

```
用紙種別
1. バーラベラベル
2. ﾌﾟﾁﾗﾊﾟﾝﾗﾍﾞﾙ
```

用紙の種別を選び、(確定)を押します。

3

注意　発行動作に合った発行形態を選択してください。

```
ﾁｪｯｸﾗﾍﾞﾙ
有無
1. あり
2. なし
```

「発行形態1」で“1.連続”を選択した場合に表示されます。

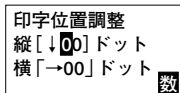
```
発行形態1
1. 連続
2. ティアオフ
```

発行形態を選び、(確定)を押します。

参考　通紙が「ハクリ」にセットされている場合は、発行形態の設定にかかわらずハクリ発行します。

4

[印字位置調整の設定例]
印字基準位置から
縦（V）方向に+60dot（5mm）
横（H）方向に+120dot（10mm）
離れた位置を基準とする設定例を示します。

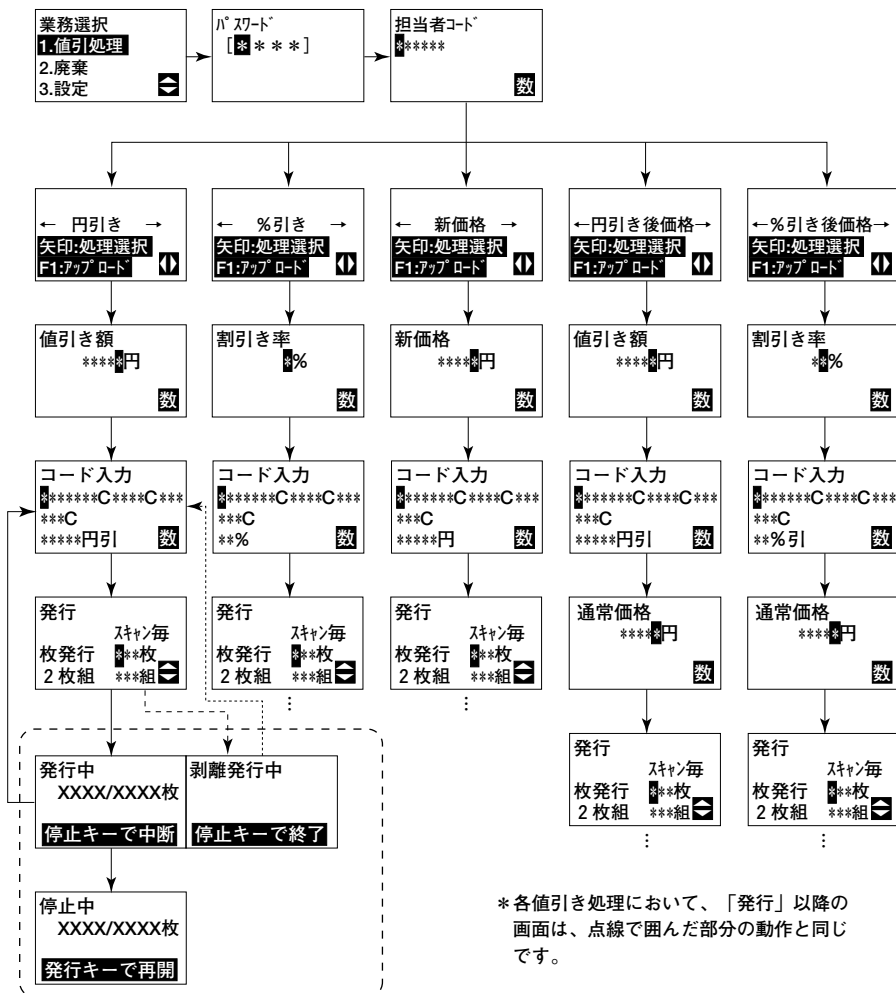
```
印字位置調整
縦[↓00]ドット
横[→00]ドット
```

本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。
よって、1dot=0.083mmとなります。

(▲/F1)(▼/F3)を押して、縦方向/横方向を選択して、(確定)を押します。

「用紙種別」画面に戻ります。

値下CODE128発行画面

「メニュー(2/3)」画面で“5.値下CODE128”を選択し、「業務選択」画面を表示します。

＊各値引き処理において、「発行」以降の画面は、点線で囲んだ部分の動作と同じです。

第7章　値下JAN2段

本プリンタに登録してある値下JAN2段を使用して、商品の値下げラベルを発行します。「円引き」、「%引き」、「新価格」の3つの値引き処理が行えます。

【円引き】　値下げ金額を設定します。
【%引き】　値下げ率を設定します。
【新価格】　表示価格を訂正し、新たな価格を設定します。

本プリンタの初期設定の流れを説明します。なお、詳しい操作説明は添付のCD-ROMをご覧ください。

値下JAN2段の初期設定

各画面で、(▲/F1)(▼/F3)を使って選択して(確定)を押すか、数字キーを使って直接各項目番号を押して確定してください。

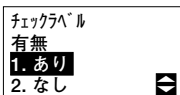
1

「ﾒﾆｭｰ(1/3)」→“3.設定”→「設定(1/2)」→“1.初期設定”→「各種設定2」画面を呼出します。

```
各種設定2
4.値下CODE128
5.値下JAN2段
6.個体識別
```

“5.値下JAN2段”を選び、(確定)を押します。

2

使用するラベルは以下の通りです。
24ページをご覧ください。
ラベルサイズ
　長さ35mm×幅48mm
　長さ65mm×幅32mm

```
用紙種別
1. バーラベラベル
2. ﾌﾟﾁﾗﾊﾟﾝﾗﾍﾞﾙ
```

用紙の種別を選び、(確定)を押します。

3

```
発行形態1
1. 連続
2. ティアオフ
```

発行形態を選び、(確定)を押します。

参考　通紙が「ハクリ」にセットされている場合は、発行形態の設定にかかわらずハクリ発行します。

注意　発行動作に合った発行形態を選択してください。

```
ﾁｪｯｸﾗﾍﾞﾙ
有無
1. あり
2. なし
```

「発行形態1」で“1.連続”を選択した場合に表示されます。

4

```
印字位置調整
縦[↓00]ドット
横「→00」ドット
```

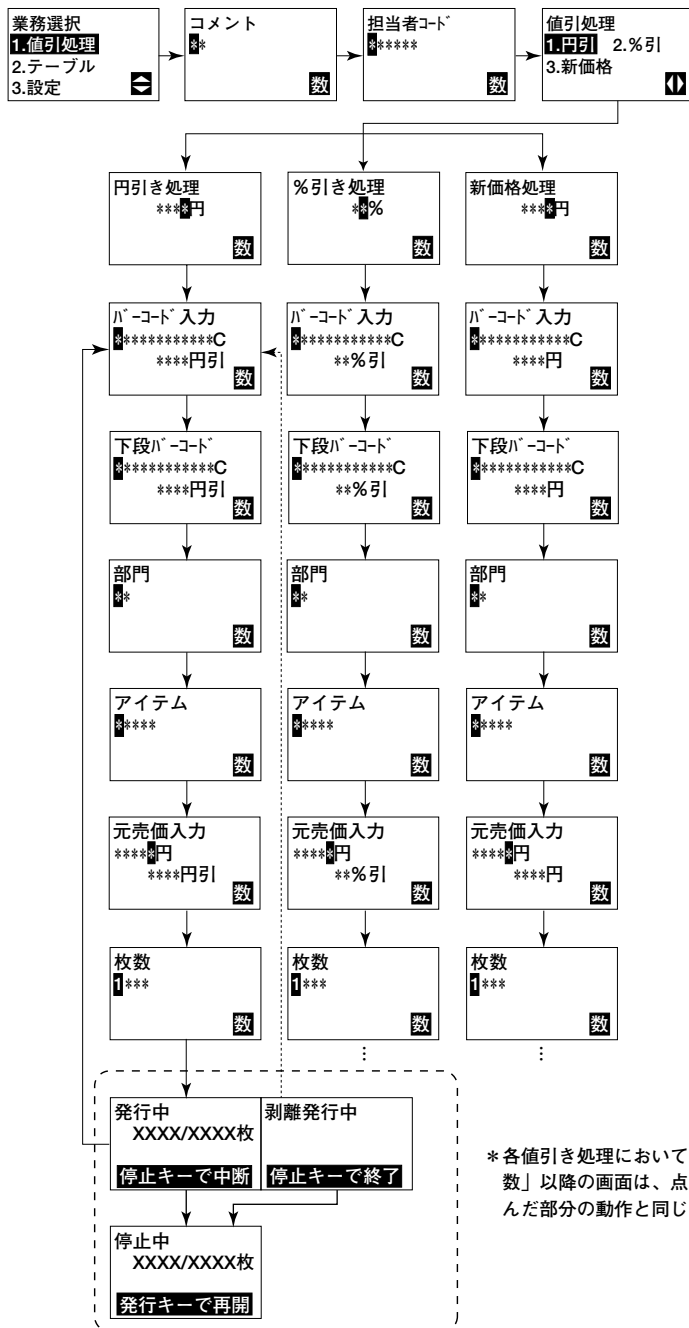
本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。
よって、1dot=0.083mmとなります。

(▲/F1)(▼/F3)を押して、縦方向/横方向を選択して、(確定)を押します。

「用紙種別」画面に戻ります。

[印字位置調整の設定例]
印字基準位置から
　縦（V）方向に+60dot（5mm）
　横（H）方向に+120dot（10mm）
離れた位置を基準とする設定例を示します。

値下JAN2段発行画面

「メニュー(2/3)」画面で“6.値下JAN2段”を選択し、「業務選択」画面を表示します。

＊各値引き処理において、「枚数」以降の画面は、点線で囲んだ部分の動作と同じです。

第8章　個体識別

本プリンタに登録してある個体識別を使用して、継承ラベルおよび個体識別番号ラベルを発行します。

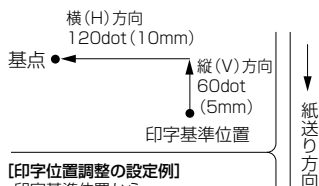
【継承ラベル】　「部位名」「個体識別番号」「産地名」「加算日数」が表示されます。

【個体識別番号ラベル】　「個体識別番号」が表示されます。

本プリンタの初期設定の流れを説明します。なお、詳しい操作説明は添付のCD-ROMをご覧ください。

個体識別の初期設定

各画面で、(▲/F1)(▼/F3)を使って選択して(確定)を押すか、数字キーを使って直接各項目番号を押して確定してください。

1

「ﾒﾆｭｰ（1/3）」→“3.設定”→「設定（1/2）」→“1.初期設定”→「各種設定2」画面を呼出します。

各種設定2
4.値下CODE128
5.値下JAN2段
6.個体識別

“6.個体識別”を選び、(確定)を押します。

2

発行形態1
1. 連続
2. ティアオフ

発行形態を選び、(確定)を押します。

参考　通紙が「ハクリ」にセットされている場合は、発行形態の設定にかかわらずハクリ発行します。

注意　発行動作に合った発行形態を選択してください。

「発行形態1」で“1.連続”を選択した場合に表示されます。

3

継承ﾗﾍﾞﾙ
印字位置調整
縦[↓00]ドット
横「→00」ドット　数

(▲/F1)(▼/F3)を押して、縦方向/横方向を選択して、(確定)を押します。

4

個体識別ﾗﾍﾞﾙ
印字位置調整
縦[↓00]ドット
横「→00」ドット　数

本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。
よって、1dot=0.083mmとなります。

(▲/F1)(▼/F3)を押して、縦方向/横方向を選択して、(確定)を押します。

横（H）方向
120dot（10mm）
基点
縦（V）方向
60dot
（5mm）
印字基準位置
紙送り方向

[印字位置調整の設定例]
印字基準位置から
　縦（V）方向に+60dot（5mm）
　横（H）方向に+120dot（10mm）
離れた位置を基準とする設定例を示します。

5

印字項目選択
部位名印字
1. あり
2. なし

部位名印字の有無を選び、(確定) を押します。

手順6で“なし”を選択した場合、「継承ラベル発行」において「部位名」画面が表示されません。
部位テーブルNoに関しては、添付のCD-ROMをご覧ください。

6

部位テーブルNo印字の有無を選び、(確定) を押します。

手順7で“なし”を選択した場合、「継承ラベル発行」において「産地名」画面が表示されません。

7

産地名印字の有無を選び、(確定) を押します。

産地テーブルNoに関しては、添付のCD-ROMをご覧ください。

8

印字項目選択
産地ﾃｰﾌﾞﾙNo印字
1. あり
2. なし

手順7で“あり”を選択した場合のみ表示されます。

産地テーブルNo印字の有無を選び、(確定) を押します。

手順9で“なし”を選択した場合、「継承ラベル発行」において「加算日数」画面が表示されません。

9

日付印字の有無を選び、(確定) を押します。

加算日数
プリンタのシステムカレンダ日付に対しての加算日数を入力します。
例）翌日を設定する時は「001」を入力します。

10

手順9で“あり”を選択した場合のみ表示されます。

加算日数初期値を数字入力し、(確定) を押します。

11

個体識別固定印字の有無を選び、(確定) を押します。

バーコード種変更を行う場合は、パスワード入力が必要です。

12

継承ラベルサイズを選び、(確定)を押します。

13

個体識別ラベルサイズを数字入力し、(確定)を押します。

14

“しない”を選択した場合、手順2の「発行形態1」に戻ります。

バーコード種変更の有無を選び、(確定)を押します。

15

手順14で“する”を選択した場合のみ表示されます。

バーコード種変更パスワードを数字入力し、(確定)を押します。

16

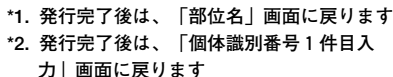
手順14で“する”を選択した場合のみ表示されます。

バーコード種を選び、(確定)を押します。

「発行形態1」画面に戻ります。

継承ラベル/個体識別ラベルの発行画面

「メニュー(3/3)」画面で"7.個体識別"を選択し、「個体識別」画面を表示します。

第8章 個体識別

第9章　環境設定

本プリンタの印字速度や印字濃度などを変えるのに必要な操作のしかたを説明します。

1.本プリンタの画面遷移について

本プリンタの画面の流れを説明します。

画面の流れ

各画面で、(▲/F1)(▼/F3)を使って選択して(確定)を押すか、数字キーを使って直接各項目番号を押して確定してください。

【起動画面】

FI212T
2009/01/26 17:40

(電源)を入れると起動画面が表示されます。

起動時にヘッドエラーが発生している場合、「ヘッドチェックエラー」を表示します。

日付確認
2009/01/26 17:40
21/01/26

「メニュー(1/3)」→“3.設定”→「設定(1/2)」→“2.ユーザーメンテナンス”→「ユーザメンテ1」→“2.ユーザー設定”→「日付確認画面表示」画面で“する”を選択した場合、「日付確認」画面が表示されます。

【ﾒﾆｭｰ(1/3)画面】

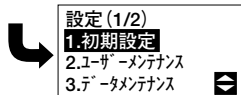
(確定)を押すと「メニュー(1/3)」画面が表示されます。
メニュー画面は「メニュー(2/3)」・「メニュー(3/3)」(70ページ)までありますので(▲/F1)(▼/F3)で画面を替えてください。

【呼出し発行画面】

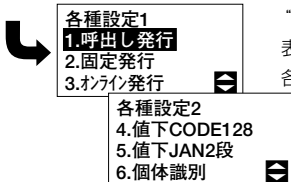
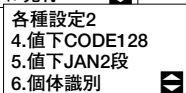
“1.呼出し発行”を確定すると「呼出しNo」画面が表示されます。
つぎの操作は「第3章　呼出し発行」(34ページ)をご覧ください。

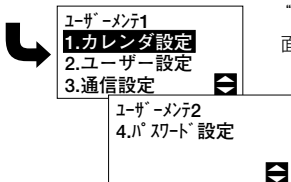
【オンライン発行画面】

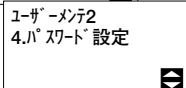
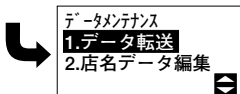
“2.オンライン発行”を確定すると「オンライン」画面が表示されます。
つぎの操作は「第4章　オンライン発行」(37ページ)をご覧ください。

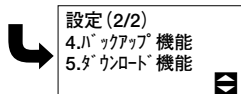
【設定(1/2)画面】

“3.設定”を確定すると「設定(1/2)」画面が表示されます。
設定画面は「設定(2/2)」画面までありますので
(▲/F1)(▼/F3) で画面を替えてください。

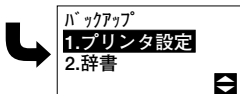
【各種設定画面】

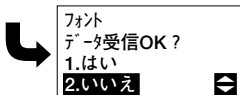
各種設定2
4.値下CODE128
5.値下JAN2段
6.個体識別

“1.初期設定”を確定すると「各種設定1」画面が表示されます。
各種設定については、第3～8章をご覧ください。

各種設定画面は「各種設定2」までありますので(▲/F1)(▼/F3)で画面を替えてください。

【ユーザーメンテナンス画面】

“2.ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃﾅﾝｽ”を確定すると「ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃ1」画面が表示されます。

ユーザーメンテナンス画面は「ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃ2」までありますので (▲/F1)(▼/F3) で画面を替えてください。

【データメンテナンス画面】

“3.ﾃﾞｰﾀﾒﾝﾃﾅﾝｽ”を確定すると「ﾃﾞｰﾀﾒﾝﾃﾅﾝｽ」画面が表示されます。

【設定(2/2)画面】

「設定(2/2)」画面です。

【バックアップ機能画面】

“4.ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ機能”を確定すると「ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ」画面が表示されます。

【ダウンロード機能画面】

“5.ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ機能”を確定すると「ﾌｫﾝﾄﾃﾞｰﾀ受信OK?」画面が表示されます。

【ﾒﾆｭｰ（2/3）画面】

「ﾒﾆｭｰ（2/3）」画面です。

【固定発行画面】

“4.固定発行”を確定すると固定発行画面が表示されます。つぎの操作は「第5章　固定発行」（39ページ）をご覧ください。

【値下CODE128画面】

“5.値下CODE128”を確定すると値下CODE128画面が表示されます。
つぎの操作は添付のCD-ROMをご覧ください。

【値下JAN2画面】

“6.値下JAN2”を確定すると値下JAN2画面が表示されます。
つぎの操作は添付のCD-ROMをご覧ください。

【ﾒﾆｭｰ（3/3）画面】

「ﾒﾆｭｰ（3/3）」画面です。

【個体識別画面】

“7.個体識別”を確定すると「個体識別」画面が表示されます。
つぎの操作は「第8章　個体識別」（64ページ）をご覧ください。

2. ユーザー設定

印字速度や印字濃度を変更したり、電源の切り忘れを防止するなど、本プリンタの基本的な環境を変更することができます。
各画面で、(▲/F1)(▼/F3)(◀/F2)(▶/F4) キーを使って選択して (確定) キーを押すか、数字キーを使って直接各項目番号を押して確定してください。
●目的の設定項目が表示されるまで、(確定)キーを押して画面を進めてください。

印字速度を変更する

バッテリパック使用時の印字速度は“75mm/s”であるため、“100mm/s”は表示されません。

1

「ﾒﾆｭｰ（1/3）」→“3.設定”→「設定（1/2）」→“2.ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃﾅﾝｽ”→「ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃ1」画面を呼出し、“2.ユーザー設定”を選択します。

印字速度を選び、(確定) キーを押します。

印字濃度を変更する

印字濃度を一番濃く（濃度＝5）しての、長時間の発行は行わないでください。（ヘッドの温度が異常に高くなることがあります。）

2

(◀/F2)(▶/F4) キーで印字濃度を決め、(確定)キーを押します。
左にいくほど薄く、右にいくほど濃くなります。

印字濃度レンジを変更する

A：サーマルラベル
E：2色サーマルラベル

3

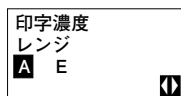
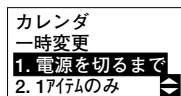
印字濃度
レンジ
A E

印字濃度レンジを選び、(確定)キーを押します。

カレンダを一時変更する

フォーマットNo.入力画面で (日付) キーを押すと「カレンダ一時変更」画面に移行します。

「第2章 基本操作について カレンダを一時変更する」（31ページ）で変更方法を説明しています。

4

カレンダ一時変更の有効範囲を選び、(確定)キーを押します。

ヘッドチェック設定

ヘッド異常検出を行うかどうかを設定できます。

- **あり**
  ヘッド異常となったとき、エラーメッセージを表示し、発行を停止します。
- **なし**
  ヘッド異常検出を行いません

ヘッドチェック範囲設定

ヘッドチェックを行う範囲を設定できます。

- **標準**
  印字領域のヘッドチェックを行います。
- **バーコード**
  バーコード印字領域のみヘッドチェックを行います。

- 手順5で“あり”を選んだときだけ、この画面が表示されます。“なし”を選んだときは、この画面は表示されません。

キー入力音設定

キーを押したときに鳴る「ピッ」という音を、鳴らさないようにすることができます。

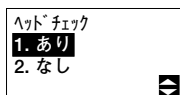
スタート画面を変更する

電源を入れた直後の画面を選ぶことができます。よく使う機能の初期画面を選んでください。

- **レジューム**
  電源OFF前に処理していたメニューからスタートします。

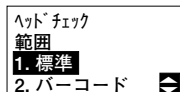
スタート画面選択

スタート画面を設定できます。

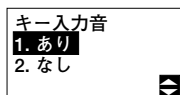
5

ヘッドチェックを行うかどうか選び、(確定)キーを押します。

参考 “なし”を選択したときは、手順7に移ります。

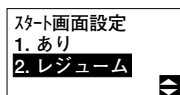
6

ﾍｯﾄﾞﾁｪｯｸ
範囲
1. 標準
2. バーコード

ヘッドチェックを行う範囲を選び、(確定) キーを押します。

重要 ヘッドチェック機能について
ヘッドチェック機能はヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします。（印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生ずることがあります。また、ヘッドに付着したゴミ等による印字の白抜けはチェックされません。）
ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキャナ読取りを行って確認してください。

7

キー入力音
1. あり
2. なし

キー入力音を鳴らすか鳴らさないかを選び、(確定)キーを押します。

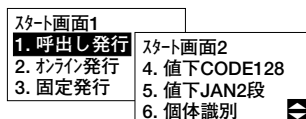
8

ｽﾀｰﾄ画面設定
1. あり
2. レジューム

スタート画面をありにするかレジュームにするかを選び、(確定)キーを押します。

9

手順8で“あり”に設定したとき、この画面が表示されます。

ｽﾀｰﾄ画面1
1. 呼出し発行
2. ｵﾝﾗｲﾝ発行
3. 固定発行

ｽﾀｰﾄ画面2
4. 値下CODE128
5. 値下JAN2段
6. 個体識別

スタート画面を何にするか選び、(確定)キーを押します。

日付確認画面設定

日付確認画面表示を「する」と設定したときは、起動時に「日付確認」画面を表示した後に設定した「スタート」画面を表示します。

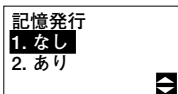
10

日付確認
画面表示
1. しない
2. する

日付確認画面を表示するかどうかを選び、(確定)キーを押します。

アイテム記憶発行

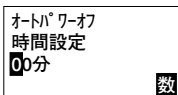
固定発行と呼出し発行のみ有効です。“あり”に設定すると、(入力切替)キーで最高10件まで登録できます。

11

アイテムを記憶して発行するかどうかを選び、(確定)キーを押します。

オートパワーオフ

オートパワーオフを設定すると、指定した時間なにもキーを押さない状態が続くと自動的に電源が切れます。プリンタを節電するために節電時間を設定することをおすすめします。

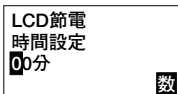
12

ｵｰﾄﾊﾟﾜｰｵﾌ
時間設定
00分
数

オートパワーオフの時間を入力し、(確定)キーを押します。

- オートパワーオフの時間（1～99）を入力し、(確定)キーを押します。
- “00”を入力すると、常時電源ONのままとなります。

LCD節電設定

LCD節電時間を設定すると、指定した時間なにもキーを押さない状態が続くと自動的にLCDのバックライトをオフします。プリンタを節電するために節電時間を設定することをおすすめします。

13

LCDの節電時間（分）を入力し、(確定)キーを押します。

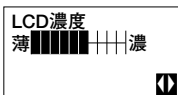
- LCDの節電時間（1～15）を入力し、(確定)キーを押します。
- “00”を入力すると、電源ON時はバックライトが常時ついたままとなります。

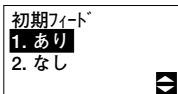
LCD輝度調整

左にいくほど薄く、右にいくほど濃くなります。

14

(◀/F2)(▶/F4)キーで印字濃度を決め、(確定)キーを押します。

初期フィード選択

- あり…電源起動してから最初の印字時に初期フィードを行います。
- なし…電源起動してから最初の印字時に初期フィードを行わないため、ラベルのセット位置によっては、印字ズレが生じる場合があります。

15

初期フィードの有無を選び、(確定)キーを押します。動作モードを切替えた場合、初期フィードの有無の設定に関わらずフィードします。

3. 通信設定

本プリンタのインタフェースを設定してください。
「ﾒﾆｭｰ（1/3）」→“3.設定”→「設定（1/2）」→“2.ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃﾅﾝｽ”→「ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃ1」→“3.通信設定”で、「通信選択」画面を表示します。

画面	説明
通信選択 1.USB	USBインタフェース（標準仕様）の場合の通信選択画面です。
通信選択 1.USB 2.LAN 3.FTP	USB/LANインタフェース仕様の場合の通信選択画面です。 (▲/F1)(▼/F3) キーまたは番号入力で“2.LAN”を選択します。 “1.USB”：「ﾕｰｻﾞｰﾒﾝﾃ1」画面に戻ります。 “3.FTP”：FTPｸﾗｲｱﾝﾄ機能設定画面に移行します。
IP解決方法 1.マニュアル 2.DHCP 3.RARP	IPアドレスの解決設定画面です。 (▲/F1)(▼/F3) キーまたは番号入力で解決方法を選択します。 “2.DHCP”：「Socket通信ﾀｲﾑｱｳﾄ時間」に移行します。 “3.RARP”：「ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ」に移行します。
IPアドレス 192.168.001.001 数	IPアドレスの設定画面です。 ドットを (シフト) キーで入力してください。
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 255.255.255.000 数	サブネットマスクの設定画面です。 ドットを (シフト) キーで入力してください。
ｹﾞｰﾄｳｪｲ ｱﾄﾞﾚｽ 000.000.000.000 数	ゲートウェイアドレスの設定画面です。 ドットを (シフト) キーで入力してください。
Socket通信 ﾀｲﾑｱｳﾄ時間（秒） 60 数	Socket通信タイムアウト時間の設定画面です。 秒単位で設定します。 (0-3600) 未入力不可 0：接続タイムアウト無効

第9章 環境設定

4. パスワード設定

本プリンタを操作するためのパスワードを設定してください。

設定したパスワードは本プリンタを使用するときの共通パスワードになります。

- はじめてパスワードを設定するときは、現在パスワード入力が不要となり、新規パスワードからの入力になります。
- セキュリティ対策としてパスワード設定をおすすめします。

1

「ユーザーメンテ2」画面で“4. パスワード設定”を選ぶと、この画面が表示されます。

パスワードを設定するかどうか選び、(確定)キーを押します。

2

手順1で“あり”に設定したとき、この画面が表示されます。

4桁の数字を入力し、(確定)キーを押します。

前に設定したパスワードと現在パスワード入力が一致しないときは、エラーとなってブザーが鳴ります。このときは再度現在パスワードを入力してください。

5. データメンテナンス

カードの初期化および各種テーブルのデータ転送などのデーターメンテナンスについては「ﾒﾆｭｰ(1/3)」→“3.設定”→「設定(1/2)」→“3.ﾃﾞｰﾀﾒﾝﾃﾅﾝｽ”→「ﾃﾞｰﾀﾒﾝﾃﾅﾝｽ」画面を呼出し、設定する内容を選び、(確定)を押します。各画面で、(▲/F1)(▼/F3)を使って選択して(確定)を押すか、数字キーを使って直接各項目番号を押して確定してください。

1. データ転送

ﾃﾞｰﾀ転送1
1. ｶｰﾄﾞ初期化
2. ﾌﾟﾘｾｯﾄﾃﾞｰﾀ
3. ﾌｫﾝﾄﾃﾞｰﾀ
4. ｸﾞﾗﾌｨｯｸ
5. 外字

3. ﾌｫﾝﾄﾃﾞｰﾀ →
ﾌｫﾝﾄ
データ受信ＯＫ ?
1. はい
2. いいえ

1. ｶｰﾄﾞ初期化 →
ｶｰﾄﾞ初期化OK ?
1. はい
2. いいえ

2. ﾌﾟﾘｾｯﾄﾃﾞｰﾀ →
プリセット
データ転送
1. ﾌﾟﾘﾝﾀ～PCﾂｰﾙ
2. ﾌﾟﾘﾝﾀ～ｶｰﾄﾞ

1. ﾌﾟﾘﾝﾀ～PCﾂｰﾙ →
プリンタ
～PCツール
1. 送信
2. 受信

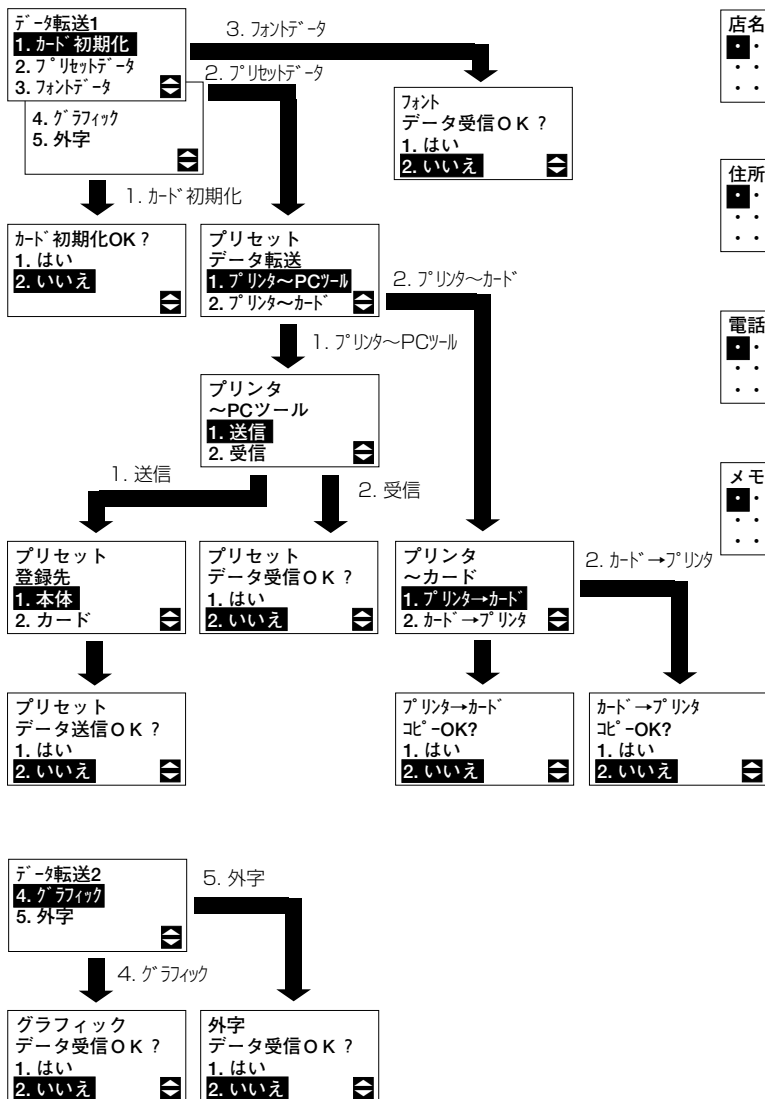
1. 送信 →
プリセット
登録先
1. 本体
2. カード
↓
プリセット
データ送信ＯＫ ?
1. はい
2. いいえ

2. 受信 →
プリセット
データ受信ＯＫ ?
1. はい
2. いいえ

2. ﾌﾟﾘﾝﾀ～ｶｰﾄﾞ →
プリンタ
～カード
1. ﾌﾟﾘﾝﾀ→ｶｰﾄﾞ
2. ｶｰﾄﾞ→ﾌﾟﾘﾝﾀ
↓
ﾌﾟﾘﾝﾀ→ｶｰﾄﾞ
ｺﾋﾟｰOK?
1. はい
2. いいえ

2. ｶｰﾄﾞ→ﾌﾟﾘﾝﾀ →
ｶｰﾄﾞ→ﾌﾟﾘﾝﾀ
ｺﾋﾟｰOK?
1. はい
2. いいえ

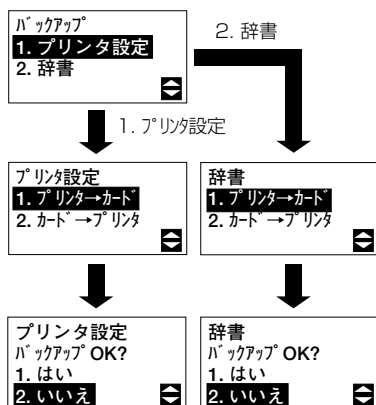
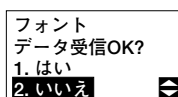
2. 店名ﾃﾞｰﾀ編集

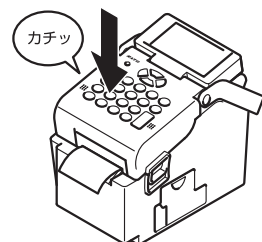
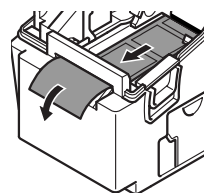
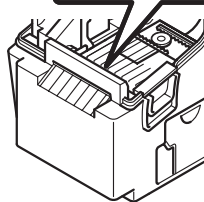
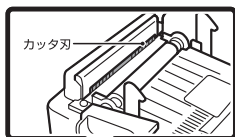
店名
・・・・・・・・
・・・・・・・・
・・・・ 漢
↓
住所
・・・・・・・・
・・・・・・・・
・・・・ 漢
↓
電話番号
・・・・・・・・
・・・・・・・・
・・・・ A
↓
メモ
・・・・・・・・
・・・・・・・・
・・・・ 漢

6. その他機能

ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ機能およびﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ機能については「ﾒﾆｭｰ(1/3)」→“3.設定”→「設定(2/2)」画面を呼出し、設定する内容を選び、(確定)を押します。
各画面で、(▲/F1)(▼/F3)を使って選択して(確定)を押すか、数字キーを使って直接各項目番号を押して確定してください。

【バックアップ機能】登録されている各種データをSDカードもしくは本プリンタに保存する機能です。
【ダウンロード機能】フォントデータをパソコンから本プリンタにダウンロードする機能です。

設定(2/2)
4. ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ機能
5. ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ機能

4. バックアップ機能

5. ダウンロード機能

7. オプション品の取り扱い

カッタモードの場合

1 「用紙をセットする」の手順1～4（21～22ページ参照）が終わっていることを確認してください。

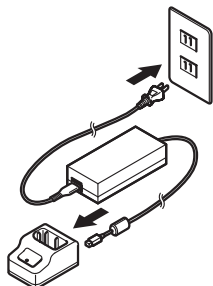
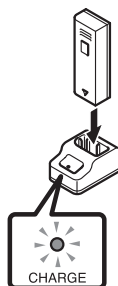
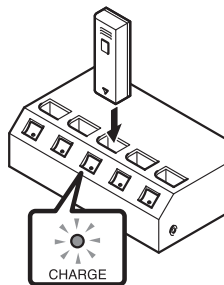
2 ラベルをカッタ刃に通します。
ラベルを通す際、カッタ刃に触らないように注意してください。

3 トップカバーを閉じます。
カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

壁コンセントのない所で使うには

バッテリパックの充電

バッテリチャージャージャーにバッテリパック（共にオプション）を取り付けて充電します。

注意　本プリンタに付属のバッテリチャージャージャーセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

<1chバッテリチャージャージャー>

<1chバッテリチャージャージャー>

<5chバッテリチャージャージャー>

1

電源コードを充電器本体に差し、コンセントにつなぎます。

2

バッテリパックの▽を下にして充電器の挿入口に差し込みます。

・充電が始まると、CHARGEランプ(赤)が点灯します。
　充電が終了すると、CHARGEランプ（緑）が点灯します。(満充電)

3

充電が終了したら、バッテリパックを取り外します。

充電時間について

充電残量が空の状態からCHARGEランプ（緑）が点灯するまでに1chバッテリチャージャー、5chバッテリチャージャーの両方とも約1.5時間かかります。

CHARGEランプが点灯していないときは、バッテリパックがしっかり取り付けられているか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。

バッテリ残量について

バッテリパックは、使用するにつれて出力電圧が低くなります。出力電圧が低くなると、ラベルの発行枚数が少なくなったり、または発行できなくなります。
本プリンタの電源を入れたときや、発行中に以下のような画面が表示されたら、バッテリパックの充電を行ってください。

バッテリ残量を表す画面

画面	説明
バッテリ EMPTY	●バッテリが少なくなってきましたので充電してください。
充電してください	●バッテリを充電しないと印字できません。 （数秒間ブザーが鳴り、通常画面に戻ります。）

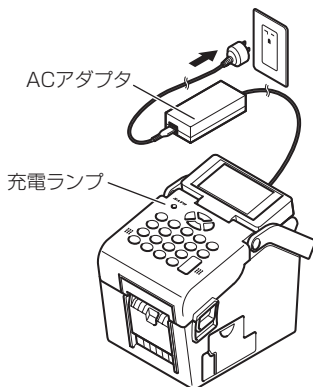
プリンタに専用ACアダプタを取り付けて充電する場合

プリンタにバッテリパックを装着して充電します。

注意　本プリンタに付属のACアダプタセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

1. プリンタにバッテリパックを装着し、ACアダプタをコンセントにつなぎます。

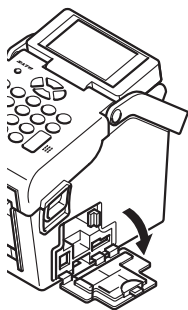
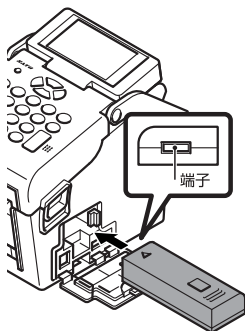
2. バッテリパックの充電が始まると、本プリンタの充電ランプが赤点灯し、充電が終了すると充電ランプが消えます（満充電）。バッテリパックの残量が空の状態から満充電になるまで、約6時間かかります。

第9章　環境設定

バッテリパックの装着と取り出しのしかた

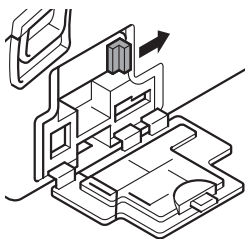
本プリンタを、壁コンセントのない所で使用するときは、オプション(別売)のバッテリパックを使用します。

1

バッテリカバーを開けます。

2

バッテリパックを図のように差し込みます。バッテリパックを奥まで挿入するとブルーのリリースレバーツがカチッと音を立て、バッテリパックがロックされます。

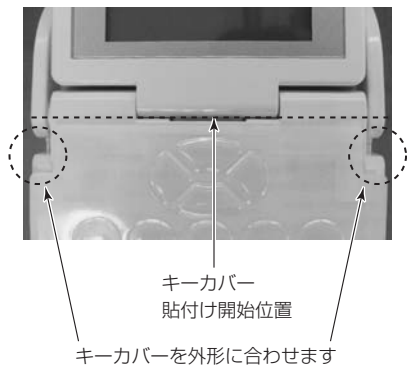
＊バッテリパックは端子が見えている方から先に挿入してください。

3

バッテリパックの取り出しは、リリースレバーを矢印方向に押してロックを外します。バッテリパック下部の取っ手を持って引き出してください。

注意

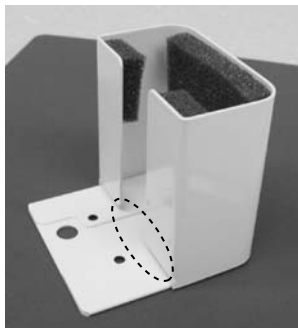
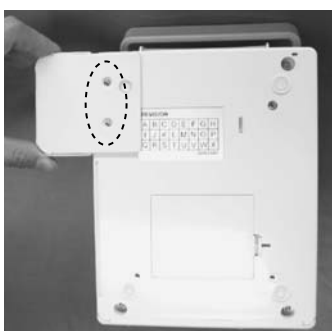
・バッテリパックの取り出しや、交換の際は、必ず電源をオフにしてください。
・上記の操作以外で、バッテリパックを取り出すとプリンタに記憶されている情報が更新されない場合がありますのでご注意ください。

キーカバーの貼り方

キーカバーの貼り方について説明します。

1. 操作パネルの上端（左写真 点線部）から下方向に、キーカバーを貼り付けます。
   台紙をはがす前に、キーカバーを貼付け開始位置、および操作パネルの外形に合わせ、貼付け位置の確認をしてください。

2. キーカバー上辺の台紙を少しはがして、キーカバーを貼付け開始位置に貼ります。
   粘着面にゴミ、埃や指紋が付着しないよう気を付けてください。

3. 台紙を少しずつはがし、各キーとキーカバーの膨らみが合っているかを確認しながら貼り付けていきます。

スキャナホルダの取り付け方

1.
2.
3.
4.
5.
1. スキャナホルダ
2. プリンタ底部
3. スキャナホルダとプリンタ底部のネジ穴（2箇所）を合わせて、取り付け位置の確認をします。
4. ［+］ドライバを用いて、スキャナホルダをネジ（付属品）で取り付けます。スキャナホルダがしっかりと固定されていることを確認してください。
5. 取り付け完了。

注 意

スキャナホルダと壁掛キットは併用できません。

壁掛キットの取り付け方

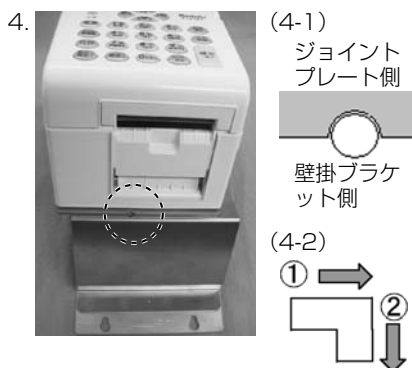
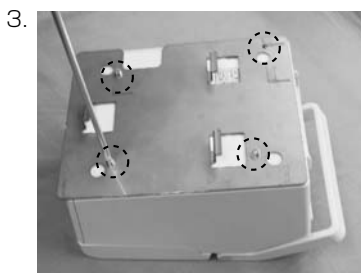
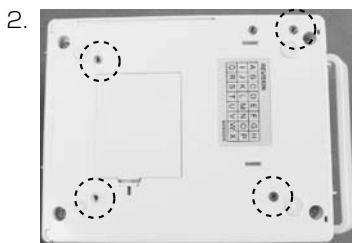
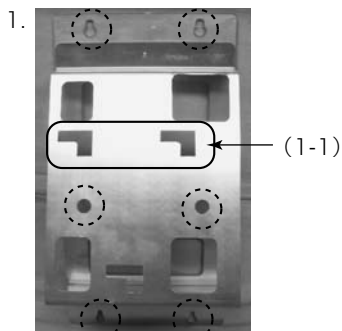
1.

2.

3.

4.

5.

注意

スキャナホルダと壁掛キットは併用できません。

1. 壁掛ブラケットには、壁に取り付けるためのネジ穴が6つおよびジョイントプレートをはめ込む角型の穴（1-1）が2つあります。壁掛ブラケットをネジで壁に取り付けます。

   注意 壁掛ブラケットを取り付けるためのネジ（6本）は、お客様でご用意願います。
2. プリンタ底部には、ジョイントプレート取り付け用のネジ穴が4つあります。
3. ジョイントプレートとプリンタ底部のネジ穴（4箇所）を合わせ、ネジ（付属品）で取り付けます。
4. ジョイントプレートを壁掛ブラケットに取り付けます。プリンタを、ジョイントプレート側のへこみが壁掛ブラケット側の穴と合う位置（4-1）に置き、右→下方向にスライドさせます（4-2）。ジョイントプレートが壁掛ブラケットに固定されていることを確認してください。
5. 電源コードをケーブルクランプ（壁掛ブラケット右側）で固定します。
6. 壁掛ブラケットがしっかり固定できる壁に取り付けてください。薄いベニヤ板や柔らかい壁などに取り付けると重みでネジが抜け、プリンタが落下してケガや破損の原因になります。

第10章　あれ？どうしたのかな？

エラーメッセージ

画面にエラーメッセージを表示したとき、プリンタはエラー状態になります。こんなときどうしたらよいか説明します。
また、プリンタを操作していて、うまくいかないときもこの章をお読みください。

エラー番号	LCD画面	説　明
01	マシンエラー 01	マシンエラーの画面です。 原因：①基板不良。 対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
02	ﾌﾗｯｼｭROMｴﾗｰ 02	フラッシュROMエラーの画面です。 原因：①フラッシュROMにアクセスできません。 対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
06	バッファオーバー 06	バッファオーバーの画面です。 原因：①受信バッファ容量を超えるデータを受信した場合。 対策：①通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。
07	カバーオープン 07	カバーオープンの画面です。 原因：①カバーがオープン状態になっています。 対策：①トップカバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。
08	ラベルエンド ピッチエラー 08	ラベルエンドピッチエラーの画面です。 原因：①正しい用紙がセットされていない状態でラベル発行した場合に表示されます。 対策：①正しい用紙をセットしてください。
11	ヘッドチェック エラー 11	ヘッドチェックエラーの画面です。 原因：①ヘッドに異常があります。 対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
12	バッテリ EMPTY 12	バッテリEMPTYの画面です。 原因：①バッテリ残量が少なくなっています。 対策：①バッテリ残量が少ないので充電してください。
13	充電してください 13	バッテリ充電要請の画面です。 原因：①バッテリ残量がなくなり、印字動作が行えない状態になっています。 対策：①バッテリを充電してください。

エラー番号	LCD画面	説　　明
14	カードが ありません 14	SDカードなしの画面です。 原因：①カードスロットにSDカードがありません。 対策：①カードスロットにSDカードをセットして（確定）キーを押してください。
15	カッタエラー 15	カッタエラーの画面です。 原因：①カッタ部で用紙詰まりが発生しています。 ②カッタ刃が所定の位置に戻っていません。 対策：①②電源オフでエラーを解除して、元の画面に戻ります。
17	カード書込み 禁止 17	カード書込み禁止の画面です。 原因：①SDカードが書込み禁止状態になっています。 対策：①SDカードの書込み禁止状態を解除してください。
18	ラベルサイズ 設定エラー 18	ラベルサイズ設定エラーの画面です。 原因：①固定発行のラベルサイズが誤っています。 対策：①固定発行のフォーマットNoに合ったラベルサイズを指定してください。
19	データ登録済み 19	データ登録済みの画面です。 原因：①すでにデータが登録されています。 対策：①番号を確認してください。
21	ダンプデータが ありません 21	ダンプデータなしの画面です。 原因：①ダンプ発行するデータが登録されていません。 対策：①ダンプ発行するデータを登録します。
22	カレンダの日付 変更してください 22	カレンダ日付不正の画面です。 原因：①カレンダ日付が不正な数値になっています。 対策：①カレンダ日付を再設定してください。
23	データエラー 23	データエラーの画面です。 原因：①不正なデータを入力しています。 対策：①データを見直してください。 備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
24	チェックデジット 照合エラー 24	チェックデジット照合エラーの画面です。 原因：①チェックデジットに誤りがあります。 対策：①チェックデジットを入力し直してください。
26	送信データが ありません 26	通信エラー（送信データなし）の画面です。 原因：①送信しようとしたデータが登録されていません。 対策：①送信データの有無を確認してください。

エラー番号	LCD画面	説　明
28	コピー元のフォーマットが違います 28	コピー元フォーマット違いの画面です。 原因：①固定発行時、プリセット登録において入力したコピーNoのプリセットデータとフォーマットNoが一致していません。 対策：①同じフォーマットNoで登録したプリセットNoを入力してください。
29	コピー元が未登録です 29	コピー元（プリセットデータ）未登録の画面です。 原因：①固定発行時、プリセット登録において入力したコピーNoのプリセットデータが登録されていません。 対策：①登録済みのプリセットNoを入力してください。
30	価格総額表示設定を再設定してください 30	価格総額表示設定の再設定画面です。 原因：①価格総額表示設定が不定値になっています。 対策：①価格総額表示を再設定してください。
32	LANデバイスエラー 32	LANデバイスエラーの画面です。 原因：①LANデバイスのエラーが発生しています。 対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
33	メモリ電池エラー 33	メモリ電池エラーの画面です。 原因：①カレンダバックアップ電池にエラーがあります。 対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
68	SDｶｰﾄﾞの情報ﾃﾞｰﾀを確認して下さい 68	SDカードの情報データ確認の画面です。 原因：①SDカードの情報データが不適切なデータになっています。 対策：①SDカードのデータを確認してください。
69	該当データがありません 69	該当データなしの画面です。 原因：①呼出し発行の検索時、該当する呼出しデータがありません。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度検索画面に戻ります。
70	入力エラー 0入力禁止です 70	入力エラー(０入力禁止)の画面です。 原因：①入力桁数チェックで「０入力禁止」に設定してあり、０入力しています。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
71	入力エラー 未入力禁止です 71	入力エラー(未入力禁止)の画面です。 原因：①入力桁数チェックで「未入力禁止」に設定してあり、入力を行っていません。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度入力画面に戻ります。

エラー番号	LCD画面	説　明
72	入力エラー 全桁必須入力です 72	入力エラー(全桁必須入力)の画面です。 原因：①呼出し発行時、入力桁数チェックで「全桁必須入力」に設定してあり、入力桁数が不足しています。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
73	入力エラー 入力範囲外の 値です 73	入力エラー(入力範囲外の値)の画面です。 原因：①入力値が有効範囲を超えています。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
76	入力エラー ﾌｫｰﾏｯﾄが登録され ていません 76	入力エラー(フォーマットが未登録)の画面です。 原因：①未登録のフォーマット番号を指定しています。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
77	入力エラー ﾃｰﾌﾞﾙが登録され ていません 77	入力エラー(テーブルが未登録)の画面です。 原因：①未登録のテーブル番号を指定しています。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
78	入力エラー 参照するﾃﾞｰﾀが ありません 78	入力エラー(参照するデータがない)の画面です。 原因：①テーブル参照時、指定した番号にデータが登録されていません。 対策：①データを確認してください。 備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
79	カード書込み エラーです 79	カード書込みエラーの画面です。 原因：①SDカードへのデータ書込みエラーが発生しています。 対策：①SDカードのデータを確認してください。
80	カード容量不足 80	SDカード容量不足の画面です。 原因：①SDカードの容量が不足しています。 対策：①SDカードのデータを確認してください。
83	データサイズが 大きすぎます 83	データサイズエラーの画面です。 原因：①発行しようとする呼出しデータが256キロバイト以上の場合に表示されます。 対策：①FIツールで呼出しデータを修正してください。
85	コピー元が不正 です 85	原因：①固定発行時プリセット登録において、入力したコピーNoに0が入力された場合に表示されます。 対策：①登録済みのプリセットNoを入力してください。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理やサービスをお申しつけになるまえに、あらかじめご確認ください。

電源を入れても何も表示されない

●ACアダプタと電源コードは正しく接続されていますか？→「電源を入れてみましょう」（20ページ）
●バッテリパックは正しく取り付けられていますか？→「バッテリパックの装着と取り出しのしかた」（81ページ）
●バッテリパックは充電されていますか？→「バッテリパックの充電」（79ページ）

ラベルが印字されない

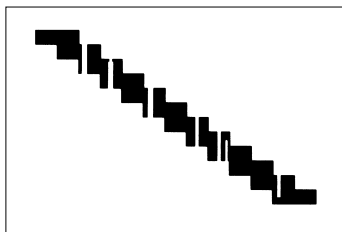
●電源を入れ直してください。
●用紙を正しくセットしてください。→「用紙をセットする」（21ページ）
●プラテンローラーの「のり」や「汚れ」をふきとってください。→「本プリンタのお手入れ」（95ページ）
●画面にメッセージが表示されたときは、表示によって適切な対応を行ってください。→「エラーメッセージ」（85ページ）
●トップカバーをカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。→「用紙をセットする」（21ページ）
●電源を切って、用紙を交換してください。

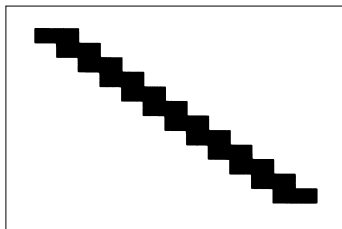
印字状態が悪い

●サーマルヘッドを掃除してください。→「本プリンタのお手入れ」（95ページ）
●プラテンローラーを掃除してください。→「本プリンタのお手入れ」（95ページ）
●電源を切って、用紙を交換してください。

正しく印字されない、または印字位置がずれる

●初期設定で、データの位置を設定し直してください。→ 第3～8章の各発行モードにて初期設定を確認する
●用紙がセットしてある箇所の「のり」や「汚れ」をふきとってください。→「本プリンタのお手入れ」（95ページ）
●用紙を正しくセットしてください。「用紙をセットする」（21ページ）

固定発行、値下CODE128、値下JAN2段、個体識別の場合、チェックラベルを発行したとき、以下のようなラベルが印字される

●サーマルヘッドを掃除してください。→「本プリンタのお手入れ」（95ページ）
●改善されないときは、ヘッドの交換が必要です。販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。

サーマルヘッドがきれいなときは、このようなラベルが印字されます。

■チェックラベル

ラベル発行後、サーマルヘッドの状態をみるためのラベルを印字することができます。このラベルをチェックラベルといいます。
チェックラベルで、サーマルヘッドの汚れなどを確認して、必要に応じてサーマルヘッドを掃除してください。
チェックラベルを印字するときは、初期設定の発行形態で“連続”を選択してください。

ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。
ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキャナ読取りを行って確認してください。

第11章　基本仕様

モデル名		バーラベ FI212T	
印字方式		感熱方式	
ヘッド密度（解像度）		12dot/mm（305dpi）	
印字有効エリア		最大　長さ120mm×幅56mm	
印字速度		50～100mm／秒　2～4インチ／秒（ACアダプタ使用時） 50～75mm／秒　2～3インチ／秒（バッテリパック使用時） ※但し、印字レイアウト、用紙の種類によっては制限する場合があります。	
印字禁止領域		ラベル　長さ方向　上:2.0mm以下　下:2.0mm以下（台紙含まず） 幅 方 向　左:1.5mm以下　右:1.5mm以下（台紙含まず）	
用紙種類／用紙形状		サトー純正用紙のご使用をお願いします。 ロール紙（表巻き／裏巻き）	
用紙厚		140～190μm（0.14～0.19mm）	
用紙サイズ		ラベル	ヒットカットラベル
	連続発行	長さ：16～117mm （台紙19～120mm） 幅　：25～60mm （台紙28～63mm）	長さ：16～117mm （台紙16～117mm） 幅　：28～60mm （台紙28～60mm）
	カッタ	長さ：16～117mm （台紙19～120mm） 幅　：25～60mm （台紙28～63mm）	——
	ティアオフ	長さ：16～117mm （台紙19～120mm） 幅　：25～60mm （台紙28～63mm）	長さ：16～117mm （台紙16～117mm） 幅　：28～60mm （台紙28～60mm）
	ハクリ	長さ：16～117mm （台紙19～120mm） 幅　：25～60mm （台紙28～63mm）	長さ：16～117mm （台紙16～117mm） 幅　：28～60mm （台紙28～60mm）
	ノンセパ （カッタ無し）	長さ：25.4～100mm 幅　：28～60mm	
	ノンセパ （カッタ付き）	長さ：45～100mm 幅　：28～60mm	
用紙外径／支管サイズ		用紙外径：最大75mm（1インチ支管時） 支管内径：26mm（1インチ）	
発行モード		標準：連続、ハクリ、ティアオフ、ジャーナル（センサ無視モード） オプション：カッタ、ノンセパ（カッタ付き）、 ノンセパ（カッタ無し）	
寸法／重量		幅132mm×奥行き194mm×高さ147mm／約1.7kg	

モデル名	バーラベ FI212T
電源仕様	入力電圧：AC100V±10%
	消費電力（入力電圧条件：100V/50Hz） 　ピーク時：47.7W　69.5VA（印字率30%） 　待 機 時：3.5W　8.6VA
バッテリ仕様	リチウムイオン電池 公称電圧　14.8V 公称容量　1700mAh 充放電サイクル　約300回 充電時間　本体充電　　約6時間 　　　　　専用充電器　約1.5時間 性能　満充電でサーマルラベル紙固定フォーマットNo.11（ラベルサイズ長さ25mm×幅32mm）にて280m相当の連続発行可能 ※使用環境により異なります。
環境条件（温度／湿度）	使用環境：0～40℃／30～80%RH（但し、結露無きこと） 保存環境：-5～60℃／30～90%RH（但し、結露無きこと） ＊サプライ製品は除く
インタフェース	① USBモデル ② USB/LANモデル ③ スキャナ接続用インタフェース：（PS/2対応） ④ SDカードスロット（1スロット） ※①，②については、いずれかを選択
オプション	① カッタキット ② ノンセパキット（カッタ付き） ③ ノンセパキット（カッタ無し） ④ 外部供給装置（UW200EF） ⑤ 外部巻取機（RW350） ⑥ バッテリパック ⑦ 1chバッテリチャージャー ⑧ 5chバッテリチャージャー ⑨ SDカード　1ギガバイト ⑩ キーカバー（油、埃の浸入防止） ⑪ 壁掛キット　※ノンセパ（カッタ付き）との組合せ運用やハクリ発行はできません。 ⑫ バーコードスキャナホルダ ⑬ バーコードスキャナ ⑭ USBケーブル

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- SDロゴは商標です。

モデル名	バーラベ FI212T
操作キー	LCD：グラフィックLCD（横128×縦64ドット） サイドライト付き キー：1. 電源 2. メニュー/前画面 3. シフト 4. 入力切替 5. 削除/AC 6. 紙送 7. 確定 8. 日付 9. 発行/停止 10. テンキー（英数字、記号、かな入力併用） 11. 方向キー：▲（F1/変換）、◀（F2）、 ▼（F3/候補）、▶（F4）
レベル調整	印字濃度調整、印字位置調整、ハクリ位置調整
用紙長検出センサ	アイマークセンサ（反射タイプ）
バーコード	UPC-A/E、JAN/EAN、CODABAR(NW-7)、CODE39、 CODE128、GS1-128(UCC/EAN128)、ITF、 UPCアドオンコード GS1 DataBar Omnidirectional GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Stacked GS1 DataBar Stacked Omnidirectional GS1 DataBar Limited GS1 DataBar Expanded GS1 DataBar Expanded Stacked ※GS1 DataBarはRSSのことです。
2次元コード	QRコード、マイクロQR
合成シンボル	EAN-13 Composite EAN-8 Composite UPC-A Composite UPC-E Composite GS1 DataBar Composite GS1 DataBar Truncated Composite GS1 DataBar Stacked Composite GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite GS1 DataBar Limited Composite GS1 DataBar Expanded Composite GS1 DataBar Expanded Stacked Composite GS1-128 Composite ※GS1 DataBarはRSSのことです。 ※GS1-128はUCC/EAN128のことです。

モデル名			バーラベ FI212T
標準搭載フォント	ビットマップフォント	×1文字	30×75dot （英数字、記号、カナ）
		×2文字	12×30dot （英数字、記号、カナ）
		×3文字	20×32dot （英数字、記号、カナ）
		OCR-B	30×36dot （英数字、記号）
		価格文字	24×36dot （数字、¥、カンマ）
		POP1文字	42×72dot （数字、¥、カンマ）
		POP2文字	72×102dot （数字、¥、カンマ）
		POP3文字	39×84dot （数字、¥、カンマ）
		×80文字	42×42dot （数字、¥、円、カンマ、～）
		×81文字	48×48dot （数字、¥、円、カンマ、～）
		×82文字	59×59dot （数字、¥、円、カンマ、～）
		×83文字	59×59dot （数字、¥、円、カンマ、～）
		×84文字	59×59dot （漢数字、¥、円、カンマ、～）
		×85文字	59×59dot （漢数字、¥、円、カンマ、～）
		×86文字	65×65dot （数字、¥、円、カンマ、～）
		×87文字	89×89dot （数字、¥、円、カンマ、～）
		×88文字	118×118dot （数字、¥、円、カンマ、～）
		ﾏｰｸﾀﾞｳﾝ1	84×138dot （数字、¥）
		ﾏｰｸﾀﾞｳﾝ2	120×138dot （数字、¥）
		ﾏｰｸﾀﾞｳﾝ3	132×138dot （数字、¥）
		ﾏｰｸﾀﾞｳﾝ4	156×138dot （数字、¥）
		漢字	16×16dot （JIS第1水準、第2水準）（角ゴシック体） 24×24dot （JIS第1水準、第2水準）（角ゴシック体） 32×32dot （JIS第1水準、第2水準）（角ゴシック体） ＊日本語（JIS×208準拠）
印字方向（文字・バーコード）			文　字：0°、90°、180°、270° バーコード：パラレル1（0°）、パラレル2（180°）、シリアル1（90°）、シリアル2（270°）
バーコード比率			1：2、1：3、2：5　任意指定可能
拡大倍率（文字・バーコード）			文　字：縦1～12倍　横1～12倍 バーコード：1～12倍
搭載機能			呼出し発行 オンライン発行 固定発行 値下CODE128 値下JAN2段 個体識別
自己診断機能			ヘッド切れチェック ペーパエンド検出 テスト印字 カバーオープン検出 カレンダチェック カレンダ電池チェック バッテリチェック カッタエラー
ノイズ（EMC）規格			VCCI Class B

第12章　保守

本プリンタのお手入れ

ラベルをきれいに印字するため、また故障を防ぐために、定期的に清掃を行ってください。

警告

◆ **感電防止について**
サーマルヘッドやプラテンローラーを清掃するときは、必ず電源を切ってください。
感電する恐れがあります。

お手入れの時期

●**サーマルヘッド、プラテンローラー**
→用紙1巻おき

●**用紙ガイド、ヘッドカバー**
→用紙6巻おき

●**印字がかすれたりラベルが汚れてきたときは、そのつどお手入れをしてください。**

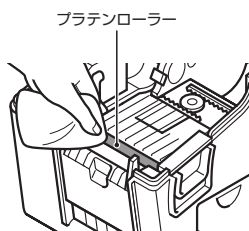
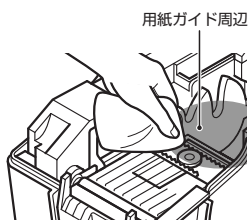
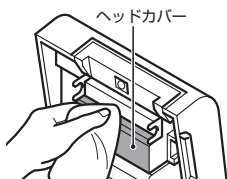
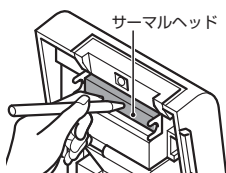
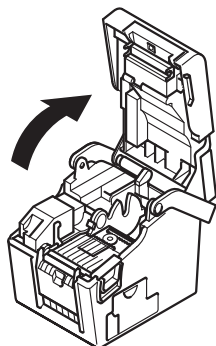
お手入れのときの注意

●**上記の清掃時期を目安に清掃してください。**
●**各部の清掃には、クリーニングペンやプリンタ清掃液、綿布、ラッピングシート（オプション）をご使用ください。**
●**ドライバなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。特にサーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。**
●**電源は必ず切ってから行ってください。**
●**用紙は取り外してから清掃を行ってください。**
●**プリンタクリーニングセットおよびラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。**

クリーニングペン

ラッピングシート（オプション）

ラッピングシート（オプション）の使い方は、ラッピングシートに添付の「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

清掃のしかた

1 カバー開閉ボタンを押し下げ、トップカバーを上まで開けます。

2 サーマルヘッドを清掃します。

クリーニングペンを使用して、サーマルヘッドの汚れを拭き取ってください。

3 綿布にプリンタ清掃液を付けて、ヘッドカバーを清掃します。

4 綿布にプリンタ清掃液を付けて、用紙ガイドと、周辺を清掃します。

用紙ガイド周辺には、ラベルの紙粉がたまりやすくなっています。

5 綿布にプリンタ清掃液を付けて、プラテンローラーを清掃します。

アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サービス業務を行っております。保守サービスについて、ご説明します。

サービスの種類一覧表

	交換部品	技術料
保証期間内サービス	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償

保証規定につきましては、保証書にてご確認ください。
標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後より5年間とさせていただきます。
（機器の販売終了につきましては、弊社のホームページhttp://www.sato.co.jpでご確認ください。）

保守サービスの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が生じた場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修復にあたります。
持込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合は用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修復にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サービスの説明

保証期間の保守サービス

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入より6か月間を保証期間として無償修理を行っております。
サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラー等の消耗部品につきましては、弊社純正サプライ品での走行距離30km（カッタは30万回）または納入より6か月間の早い方が無償修理対応となります。

保守契約サービス

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

フルメンテナンスサービス

1. 目的

お客様とサトーとが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および修理に使用した交換部品は、保守契約により充当されます。したがって、お客様にとりましては1年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

2. 保守契約料

保守契約料は、機器ごとにご使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは1年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、4年間まで継続して契約することができます。4年をこえる保守契約サービスについては、別基準にしたがい個々にお見積りいたします。

保守契約の対象地域について

保守契約の対象地域に、サトー本社、支店、営業所、サポートセンターの所在地より半径80km以内といたします。対象地域外の場合は、遠隔地料を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。
なお離島の場合は、交通費を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

スポットサービス

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、スポットサービスを実施いたします。
故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理訪問までに日数がかかることがございますが、ご了承ください。
スポットサービスを実施した場合、サービス料金表に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださいますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続きが不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合は、機械又はカード等に登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセット・データ・印字ソフト等々）は、修復作業時に壊れる場合があります。
(登録された各種データ・ソフトの保証は出来ません)
特に預かり・持込み保守におきましては、お客様で予め別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

第13章　付録

リサイクルマークテーブル

リサイクルマークテーブル番号 2 桁、プラマーク、紙マークともにサイズ 6 × 6 mm、リサイクルマーク14種類を標準搭載します。テーブルNo.14～19は欠番となります。

テーブルNo.	名　称	印字内容
01	プラ	プラ
02	プラ　ラップ	プラ　：ラップ
03	プラ　袋	プラ　：袋
04	プラ　袋・止め具	プラ　：袋・止め具
05	プラ　ラップ・トレー	プラ　：ラップ・トレー
06	プラ　ラップ・吸水紙	プラ　：ラップ・吸水紙
07	プラ　PVC	プラ　：PVC
08	プラ　EVAC・PP	プラ　：EVAC，PP
09	EVAC・PE	プラ　：EVAC，PE
10	プラ　PP	プラ　：PP
11	プラ　PET	プラ　：PET
12	プラ　ラップ・紙　トレー	プラ　ラップ　紙　トレー
13	プラ　ラップ　紙　吸水	プラ　ラップ　紙　吸水紙
20	紙	紙

※固定発行のみ有効になります。

原産地テーブル

原産地テーブル番号３桁、漢字32ドット文字、１×１倍、原産地103件を標準搭載します。原産地テーブル番号48～50、157～175は欠番となります。

－：欠番を意味します。

番号	内　容	番号	内　容	番号	内　容	番号	内　容	番号	内　容
001	愛知県産	026	東京都産	101	アメリカ産	126	スーダン産	151	ベルギー産
002	青森県産	027	徳島県産	102	アラブ産	127	スペイン産	152	ポルトガル産
003	秋田県産	028	栃木県産	103	アルゼンチン産	128	スリランカ産	153	マレーシア産
004	石川県産	029	鳥取県産	104	イギリス産	129	セネガル産	154	南アフリカ産
005	茨城県産	030	富山県産	105	イスラエル産	130	タイ産	155	メキシコ産
006	岩手県産	031	長崎県産	106	イタリア産	131	台湾産	156	ロシア産
007	愛媛県産	032	長野県産	107	イラン産	132	中国産	157	－
008	大分県産	033	奈良県産	108	インド産	133	チリ産	158	－
009	大阪府産	034	新潟県産	109	インドネシア産	134	デンマーク産	159	－
010	岡山県産	035	兵庫県産	110	エクアドル産	135	ドイツ産	160	－
011	沖縄県産	036	広島県産	111	エジプト産	136	トルコ産	161	－
012	香川県産	037	福井県産	112	オーストラリア産	137	ナイジェリア産	162	－
013	鹿児島県産	038	福岡県産	113	オーストリア産	138	日本産	163	－
014	神奈川県産	039	福島県産	114	オランダ産	139	ニュージーランド産	164	－
015	岐阜県産	040	北海道産	115	カナダ産	140	ノルウェー産	165	－
016	京都府産	041	三重県産	116	カリフォルニア産	141	パキスタン産	166	－
017	熊本県産	042	宮城県産	117	韓国産	142	フィジー産	167	－
018	群馬県産	043	宮崎県産	118	北朝鮮産	143	フィリピン産	168	－
019	高知県産	044	山形県産	119	ギリシア産	144	フィンランド産	169	－
020	埼玉県産	045	山口県産	120	クウェート産	145	ブラジル産	170	－
021	佐賀県産	046	山梨県産	121	コロンビア産	146	フランス産	171	－
022	滋賀県産	047	和歌山県産	122	サウジアラビア産	147	ブルガリア産	172	－
023	静岡県産	048	－	123	シンガポール産	148	フロリダ産	173	－
024	島根県産	049	－	124	スイス産	149	ベトナム産	174	－
025	千葉県産	050	－	125	スウェーデン産	150	ペルー産	175	－

※固定発行のみ有効になります。
注意：個体識別の原産地は、日本国内のみ対応しておりますので、添付のCD-ROMをご覧ください